



週刊 YEAR BOOK

1977
昭和52年

日録20世紀

10/14

平成9年10月14日発行
(毎週1回発行)第1巻第33号

¥560
講談社

王貞治、本塁打世界新!

「ピンク・レディー」と「キャンディーズ」
「解体」された安宅マン3600人の運命
犠牲者30万人! 独裁者・アミンの弄順

過激にデビュー、衝撃的に引退！ 嵐のように駆け抜けた2組のアイドル 「ピンク・レディー」「キャンディーズ」現象

▼昭和53年12月31日、ピンク・レディーが歌う「UFO」が第20回日本レコード大賞を受賞した。この年のシングル盤のレコード売上総数は534万枚を記録。 日刊スポーツ



師走にもかかわらず、一万五〇〇〇人の熱気で日本武道館はピークに達していた。「ケイちゃん」「ミーちゃん」顔を傾け右手を頬にあてるポーズに、叫び声のような声援を送る男性ファン。父親が娘を肩車して、ステージを見つめる親子の姿もある。

昭和五二年二月二十七日に武道館で行われた「77年バイバイ・カーニバル」は、ピンク・レディーにとって超多忙の一年を締めくくるコンサートだった。デビュー一年半にして、七本のCMに出演。コンサート観客動員数が約三万人で行ったことがないのは沖繩と鹿児島だけ。そうした大物ぶりを証明したのが、「新人では前代未聞」と言われた武道館コンサートだったのだ。

実際、二人は異例すくめの「怪物」だった。デビュー曲「ペッパー警部」がいきなり一〇五万枚を売り上げ、「S・O・S」や「カルメン77」など、出す曲、出す曲がミリオンセラーを記録。「福田赳夫総理がニュースに出ない日があってもピンク・レディーがブラウン管に登場し

作られたキャラクターに 徹したピンク・レディー

昭和五二年、日本中を席巻し、社会現象にまでなった二組の女性アイドルグループがあった。激しい踊りで旋風を巻き起こした「ピンク・レディー」と、等身大のアイドル像が人気を呼んだ「キャンディーズ」。タイプの違う二組のアイドルは人々の心をつかみ、芸能界に新風を吹きこんで嵐のように駆け抜けていった。

▲ピンク・レディーファンクラブのバッジ。

◀「UFO」関連グッズの宇宙ペンダント。ボタンを押すと二人の顔が浮かぶ。アサヒ新聞発売 昭和53年

▲曲ごとに衣装と振りが変わるのも魅力だった。写真は「サウスボーイ」の振り。前がケイ、後がミィ。

ピンク・レディーの記念すべきデビュー曲となった「ペッパー警部」。

「ペッパー警部」に続く第二作目となった「S.O.S.」。

「……あいつはあいつは大変装」のせりふが好評だった「ウエディング」。

「サウスボーイ」。この曲は昭和五三年の第九回日本レコード大賞を受賞した。

「UFO」「サウスボーイ」とともに昭和五三年に大ヒットした「モンスター」。

「透明人間」。

最大のヒット曲となり、昭和五三年の日本レコード大賞を受賞した「UFO」。

おしゃれ人形ピンク・レディー。新曲発売のたびに衣装を替えて販売された。

アサヒ新聞発売 昭和五三年二月一日

過激にデビュー、衝撃的に引退！
嵐のように駆け抜けた2組のアイドル
「ピンク・レディー」「キャンディーズ」現象

▼キャンディーズのさよならコンサートが行われた昭和53年4月4日の後楽園球場。最後は5万人のファンと「微笑がえし」の大合唱。



2組のおもなレコードと売上枚数

グループ	楽曲	売上枚数
キャンディーズ	「年下の男の子」	26万枚
	「春一番」	36万2000枚
	「やさしい悪魔」	39万枚
	「暑中お見舞い申し上げます」	29万8000枚
	「微笑がえし」	82万9000枚
ピンク・レディー	「ベッパ〜警部」	105万枚
	「S・O・S」	120万枚
	「カルメン'77」	110万枚
	「ウォンテッド」	160万枚
	「UFO」	180万枚



▲キャンディーズの最後のヒットとなった「微笑がえし」。



▲郵政省とのタイアップで発売された「暑中お見舞い申し上げます」。



▲最初はアルバムに入っていた曲で、後にシングルで出された「春一番」。



▲昭和50年、初出場の紅白歌合戦で歌った「年下の男の子」。

ない日はない」などとささやかれた。デューオを組んで高校時代から歌手をめざしていたケイ（増田啓子・二〇）とミキ（根本美鶴代・一九）は、一世を風靡したオーディション番組の「スター誕生」を機に、昭和五一年八月デビューをはたす。ザ・ビーナッツのようなデューオを

という狙いから、作詞家の阿久悠（四〇）、作曲家の都倉俊一（二九）、振り付けの土居甫（四二）が企画チームを組み、二人を奇抜な曲名とアップテンポなリズム、大胆な振り付けといった仕掛けで歌謡界に送り出した。当初のターゲットは一〇代の男性だったが、デビューから約

半年後、ピンク・レディーの二人や仕掛け人たちは「意外な反応」にきづく。この頃から、コンサート会場に若い男性ファンにまじって、母親に手を引かれた少女の姿が目立ち始めたからだ。「歌詞も踊りも当時としては過激で挑発的だったから、えっ、あんな幼い子も



▲昭和53年4月4日、ひとつの時代を駆け抜けたキャンディーズが後楽園球場でさよならコンサート。左からミキ、ラン、スー。

聞くの？」と最初は不思議だった」と元ケイの増田恵子さんは言う。彼女たちの踊りには、「カルメン'77」なら闘鶏、「ベッパ〜警部」なら逮捕劇というように一曲ごとにモチーフがあった。たとえば後者の場合、映画「ピンクパンサー」がもとになっており、アイドルには珍しい股を広げるポーズも、探偵が犯人を追走する姿を表現している。そうしたストーリー性や、パンチのきいたリズムと歌詞を全身で表現できる新鮮さに、少女たちは虜になる。前奏を聞くだけで体を動かす二、三歳の子ども、競うように振り付けをおぼえる小学生の姿が、茶の間で、公園で、教室で日常化した時、ピンク・レディーは「ひとつの社会現象」に化した。

「あまりにも忙しすぎて、社会現象になった実感はありませんでした。ますますキャラクター化していく歌と、大人の歌手に脱皮したい」という本心との葛藤も多少はありました。「ピンク・レディー号」というロケットが宇宙に打ち上げられて皆が大騒ぎしているのに、乗っているはずの私たちは地上でそれを見上げていたような感じがな」と増田さんは率直に振り返る。

キャンディーズは
「元祖バラドル」

昭和五二年の七月二十七日、同じように人気のピークにありながら、突然の解散宣言を行ったのがキャンディーズだ。「九月に解散することになりましたあ」——日比谷野外音楽堂のステージで、四〇〇〇人の観客を前に声を震わせるラン（伊藤蘭・二二）に、場内は静まり返った。

舞台上に泣き崩れるスー（田中好子・二二）とミキ（藤村美樹・二二）。衝撃的な解散宣言は、所属事務所にも「青天の霹靂」だった。翌日には会見が開かれ、あの流行語にもなった「普通の女の子に戻りたい」発言が飛び出す。プロデューサーだった酒井政利氏現、五八歳）は、「人気の頂点にあるスターが突然、引退宣言するなんて前例はなかった。で私も驚きました。キャンディーズはランの赤、スーの黄、ミキの青と「三原色」が調和したグループで、当時の芸能人には珍しい素人っぽさ、健全さを持

っていた。だからこそ、三人で移動し、歌う、鋳型にはめられた生活に疲れきっていたのかもしれない」と話す。昭和四七年にNHKの歌番組のマスコミがつかき始めたのは、人気バラエティ番組の「8時だヨ！全員集合」に出演し、からだ。アイドルがコントを演じることなどなかった時代、ちよび髭をつけ、パイ投げをする「等身大のアイドル」は茶の間の共感を呼んだ。歌手としても、昭和五〇年の「年下の男の子」を皮切りに「春一番」「やさしい悪魔」など順調にヒットを飛ばす。

芸能界にある現象を起こすことになる。ピーク時にやめる衝撃的な引退や引退行が、山口百恵、都はるみなど、後のアーティストに先鞭をつける形になったからだ。多くの足跡を残して時代を疾走した二組のアイドルは、よく「本人たち（演技者）を含むプロジェクトチームの仕掛けが勝利をおさめたピンク・レディー」と「まず三人の個性ありきのキャンディーズ」と比較される。

米国進出もはしたしたピンク・レディーが「燃え尽きました」という言葉を残して解散したのは昭和五六年三月。その時普通の少女に戻ったはずのキャンディーズの三人は芸能界に復帰していた。「あのブームが一体、何だったのか今でもわからないけれど、昨年の再結成で、当時を懐かしむ女性と一緒にリズムをとる子供たちを見て感じたことがあるんです。時空を越えて人の心に訴えかける何か、ピンク・レディーにはあったのかもしれないって……」（増田さん）

七五六号は逆風をつき右翼席に突き刺さった 王貞治、二一本足打法で世界新!



◀756号の世界新記録が生まれた。王選手は両手を広げゆっくりと一塁へ向かう。左はこの大記録をわがことのように喜ぶ張本勲選手。

世界の球史にさん然と輝く大記録、王貞治の七五六号ホームランが飛び出したのは、昭和五十二年九月三日。後楽園球場での、対ヤクルト三回戦三回裏のことだった。その日、日本列島はすさまじい熱狂の渦に包まれ、「世界の王」の記念すべき偉業をたたえ合った。

世界記録の七五六号 逆風をつき右翼席へ

午後七時一〇分六秒、五万人の大観衆がよめいた。
三回裏、一死無走者で巨人の王貞治(さんねい)はこの日二回目の打席に立った。

ヤクルト・鈴木康二郎投手が2―3から投げた第六球目、外角をねらったシュートが真ん中高目に行った瞬間、王のバットが振りおろされ、みごとにボールをとらえた。

白球は快音を残して、六段の逆風をつき、一本の糸を引くような弾丸ライナーとなり、わずか四秒で満員の右翼席中段に突き刺さった。

ハンク・アーロンの持つ米大リーグ通算本塁打記録に並ぶ七五五号を放ってから一四打席目、後楽園で国鉄スワローズの村田元一投手から第一号を記録して以来一九年目、入団以来二四二八試合、七八八打席目の世界新記録達成だった。

球場は全員総立ちとなった。右翼線審・平光清の右手がグルグルまわり、王は四、五歩走ったところで、両手を大きく空に広げ、満面に笑みを浮かべながら誇らしげに喜びのポーズをとった。

一塁側三塁、三塁側三塁、計六個の黄色のくす玉が割られ、一塁側後方からは、大音響とともに火花が打ち上げられた。王は喜びをしっかりと味わいながら、一歩一歩大地を踏みしめるようにゆっくりとダイヤモンドを一周、ホーム・ベースの前で待ちかまえた就任三年目の長嶋茂雄監督(四一)とがっちり握手を交わしたのである。

この日、巨人はヤクルトに八対一で快勝、ゲーム終了後も場内の興奮は続いていた。セレモニーが始まると、球場のすべての照明が消え、一人マウンドに上がった王選手に、四方からスポットライトが当たる。センター後方の電光掲示板には「おめでとう王選手756号」の文字がくっきりと浮かび上がった。

女優の山本由香利から生花で飾られた記念の盾を贈られた王選手は、マウンドに両親を呼び寄せ感激をともにした後、全国のファンに「このように温かく、熱烈な祝福をいただきまして、私は幸せな男だと思います」と、挨拶、場内には割れんばかりの拍手が轟き渡った。そしてその日の夜、福田越夫(こし)首相は王選手の偉業をたたえる異例のメッセージを送り、五日午前二〇時半、日本初の国民栄誉賞

756号

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 R H E
0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 2 4 1 0
5 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 4 0 1
富松田三 沢橋中清 Av.320 Hr.39 H

GIANTS

8 4 1 3 7 9 5 6 2 1

栄土 王 張 淡 高 河 矢 茂

▲グラウンドを一同する王選手。電光掲示板に756号の文字が輝く。読売新聞社



▲アイモ(映画撮影機)がとらえた世界新記録達成の瞬間。それは人並みならぬ努力で開発した一本足打法から生まれた。読売新聞社



▲昭和61年、経済同友会初の女性会員となる。

女たちの肖像 稲葉真弓

「日本美にこだわる」 「マダム・バタフライ」 森英恵、パリに進出

蝶のデザイン、バルセロナ五輪の日本選手ユニホームデザインなどで著名な森英恵（五）が、パリにオートクチュール（高級注文服）店を開いたのがこの年一月二七日のこと。翌年、東洋人初のパリ・オートクチュール組合員に選ばれたという快挙をなした。

たのは、何年後、欧米でいくつかの賞を得てからのことだったという。それほど日本人は洋服に関して浅い知識しか持っていなかったわけだが、彼女が本場で受け入れられたのは、作品に漂う「東洋の美」が評価されたからである。

トレードマークになっている「蝶」も、「日本美」へのこだわりと無縁ではない。生地、島根県六日市村（現・六日市町）は、春になるとモンシロチョウが飛びかう田園地帯だった。大正一五年生まれ、開業医の娘として恵まれた少女時代をすごした彼女は、自分の中の日本的な原風景を「蝶」に託したのである。同時に昭和三六年初めてニューヨークで見たオペラ「マダム・バタフライ」の蝶々夫人があまりにも日本の女性とかけ離れていたためショックを受け、「私は蝶が大好きだけれどもこんな蝶はいやだ。絶対に日本と日本人女性のイメージを変えてみせる」と決意。四〇年、ニューヨークで「蝶」をテーマにした初コレクションを開いて大成功、森英恵の名は「マダム・バタフライ」として世界的に知られるようになった。

その彼女を陰で支えたのが元海軍主計将校だった夫の森賢である。昭和二四年、東京女子大卒業と同時に結婚した彼女は子育ての合間に洋裁を習い、二六年新宿に「ひよしや」を開店。以後、「アート」を「ビジネス」にドッキングさせたのは夫の手腕であった。

パリ進出後の活躍はめざましく、昭和六三年紫綬褒章、平成元年にはフランスの文化章レジオン・ドヌール勲章を受章、平成八年には文化勲章を受章した。成功を支えた「戦友」の夫は、文化勲章内定の知らせを聞いた直後に病死したが、彼女の戦いはまだ続いている。語録——「私の蝶々は、はかない蝶。壊れやすいけれど意外にしたたか。やがて死ぬけれど、今、生きている」。



▲世界新記録達成から一夜明けた9月4日、王選手の実家は大勢のファンが押しかけ、祝福した。読売新聞社

別所の二声で決断 ホームラン量産へ

「私は王を一流の打者に
する自信がありました。
しかし、よくあの猛特訓
に耐えられたものです。
よく世間では王を天才バ
ッターと言いますが、努
力の天才ですよ」

こう語るのは王の師匠、元巨人軍コー
チの荒川博である。

「王には長嶋以上の素質がある。鉄は熱いうちに打て」と、荒川がコーチとして巨人軍に招かれたのは昭和三七年、氏が三十一歳の時のことである。三四年に入団した王は入団後の三年間、ホームランは通算で三七本、三振二四五個と、打撃成績は低調で、「三振王」の異名をとるほどであった。

キャンプから二人の血のにじむような特訓が始まった。剣道や合気道を取り入れた「本足打法」への改造である。しかし、この打法には、タイミングがはずされやすいという最大の欠点があり、本番で一本足に踏み切ることがなかなかできなかった。

チャンスは突然訪れた。一本足打法が初めてゲームで披露されたのは、昭和三七年七月一日、川崎球場での対大洋戦であった。

「その日、別所毅彦ヘッドコーチに王が打てないから勝てないだとかこっぴどく叱られ、私はもうやけっぱちで王に一本



▲菊の花でボールをかたどった記念の盾を両親にプレゼントする。王選手の手が涙でうるむ。場内からは親孝行も日本一の声がとんだ。

足で打つような命じられたのです」（荒川氏）

師としてはもう少し時間がほしかったが、この歴史的決断を境に王選手のホームラン量産が始まった。稲川誠投手から第一打席ライト前ヒット、そして第二打席目にライトスタンドに一本足第一号を記録、この年五九試合目の第一〇号であった。そして残り七五試合で二八本ものホームランを放ち、通算三八本で初のホームラン王に輝いた。

以後、一三年連続してこのタイトルを独占。昭和五五年のシーズン終了後「精神的にも肉体的にも限界にきた」と現役を引退するまで、三冠王二回、首位打者五回、本塁打王一五回、打点王一三回、最多出塁一二回という数々の偉大な記録を打ち立て、本塁打の記録を八六八本にまで伸ばしたのである。

王は後に「スランプという怪物を退治し、なおかつ技術的に進歩させたのは、練習、練習、それ以外に道はないだろう」（『回想』勁文社）と記している。まさに努力家・王貞治の面目躍如といったところである。

勝者・敗者

阿部珠樹

一日八時間もの猛練習実る ジャンプの佐野稔 日本フィギュア初のメダル

演技を終えた佐野稔（二一）は、乱れた呼吸を整えながら、得点表示を待った。出た。技術点、芸術点とも最高に近い五・九がずらりと並んだ。後に演技者は残っていない。三位が決まった。日本人としては初のメダルである。場内には「ミノル」「ミノル」の大歓声が沸き起こった。

この年三月、東京では、アジアで初めてフィギュアスケートの世界選手権大会が開かれた。日本の期待は、ジャンプの佐野稔として世界に名を轟かせ、トップテン入りする実力をつけるまでになっていた佐野稔に集中した。

期待を担って登場した佐野は、苦手の規定で六位とまずまずのポジションにつける。続くショートプログラムではひとつ順位を上げて五位。最後のフリー演技の得点次第では、初の入賞手が届く。

そして、勝負のかかった最後のフリー演技。佐野は跳んだ。参加選手の中で、ただ一人、三回転ジャンプのうちで最もむずかしいトリプルルッツを決めて波に乗り、フリップ、トゥーループ、サルコーと三回転ジャンプを次々に成功させた。ジャンプの力強さだけを見れば、世界一と言ってもよい会心の出来だった。フリー演技で最高点をマ



▲昭和47年の全日本選手権で初めて男子シングルスチャンピオンに。5年連続で優勝する。

1977

フォト＋日録で再現する365日

円が変動相場制に移行した。景気は依然回復せず、企業の倒産は記録を更新。そんな中、王が世界のホームラン王になり、「ピンク・レディー」と「キャンディーズ」が人気を集めた。一方ロッキード裁判では検察官が元首相の「よっしゃ」発言を暴露、国民を呆然とさせた。

▲野菜大暴落(11月16日)好天続きで生産過剰になった野菜が産地にあふれ、全農が白菜を福祉施設などに寄贈する補償金を農産物に要請したほど。写真は大根を上げた主婦(左)の案内を出した千葉県の農家。



日録 20世紀1977

1月



毎日新聞社

▲田中角栄元首相、初公判(1月27日)ロッキード事件「丸紅ルート」5被告の一人として東京地裁に出廷。5億円の献金で全日空へのトライスター売りこみに関与(受託収賄)したとする検察側の起訴事実を全面否認した。

▼カーター、米大統領に(1月20日)ワシントンの議事堂前で就任式が行われ、人権の擁護と核兵器廃絶に向けての努力を誓う演説を行った。写真は宣誓後、ロザリン夫人から祝福のキスを受ける大統領。



ロイター・サン / 共同通信社

▲酔っ払い操縦で墜落(1月13日)アンカレジ空港で日航貨物専用機が離陸に失敗、日本人二人を含む乗員5人全員が死亡。機長の遺体から、多量のアルコールが検出された。



毎日新聞社

▲人力飛行世界新(1月2日)日大理工学部グループが、千葉県の上野自衛隊下総基地でペダルをこいで約2キロ飛行。機体はバルサ材と和紙が主体。翼長21メートル、重さ37キロ。

▲具志堅用高、タイトル初防衛(1月30日)東京の日本武道館で世界Jフライ級選手権戦が行われ、同級2位パナマのリオスに辛勝。後の13連統防衛の日本記録へ第一歩を記した。

共同通信社

▼ソ連漁船のゴミ不法投棄に抗議(1月21日)銚子の漁民らが、海から引揚げられたゴミをトラック2台に積んでソ連大使館にデモ。きれいな海を返せと迫った。外務省も26日、抗議を申し入れた。



読売新聞社



ロイター・サン / 共同通信社



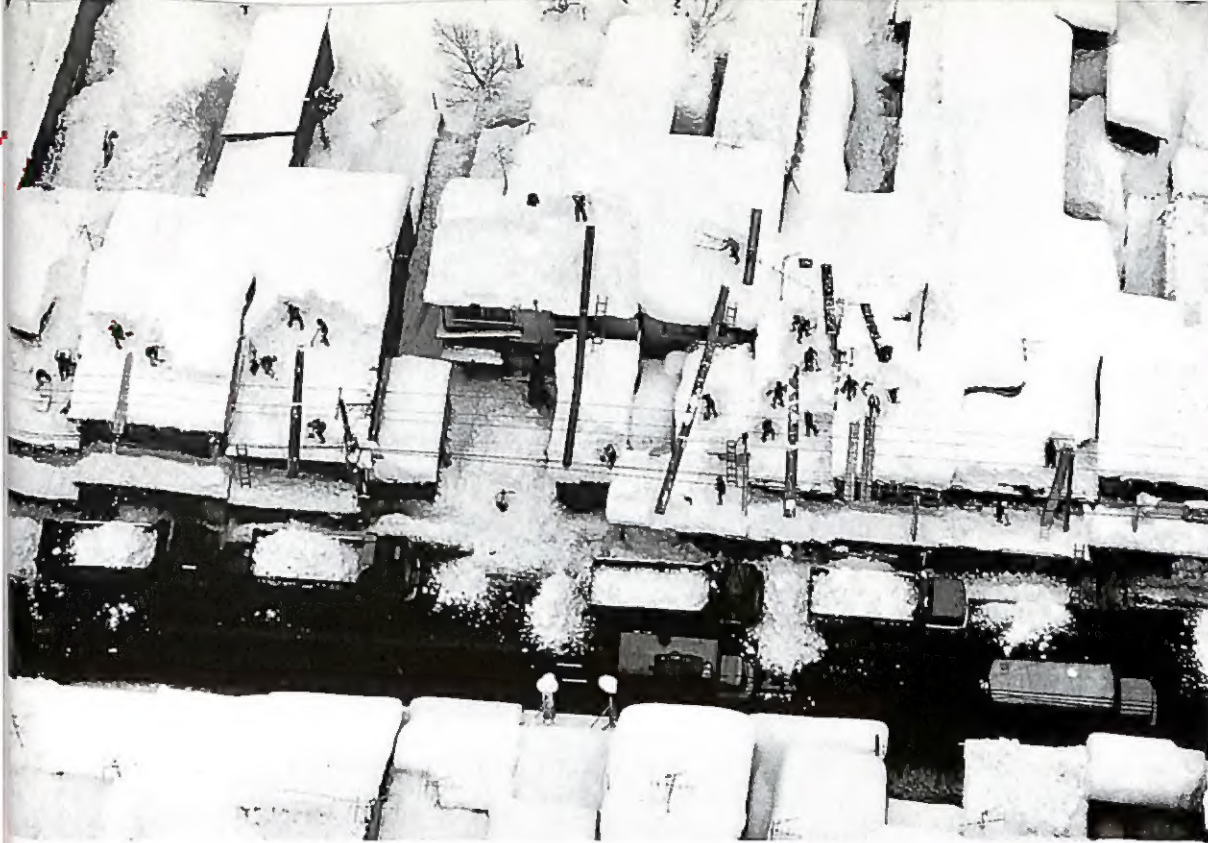
- 昭和52年1月
- 1(土) ●京都市の梨木神社で消火器爆弾が爆発。●西武百貨店、幻の蛇「ツチノコ」に懸賞金。
 - 2(日) ●日大理工学部が人力飛行「九四」の世界新。
 - 3(月) ●IMF、経済危機の英国に三九億貸し付け。
 - 4(火) ●東京の品川駅付近の電話ボックスに置かれた青酸入りコーラを飲んで、「二人死」。
 - 5(水) ●九州自然動物公園で日本初のチーターの子誕生。
 - 6(木) ●ソニー、世界最大の三ツテレビを発表。
 - 7(金) ●ハーエクラチエコの自由派知識人、同国の人権抑圧を暴露する「憲章77」を西側に発表。
 - 8(土) ●本四連絡橋の尾道、今治結ぶ島大橋起工。
 - 9(日) ●新幹線が雪で一日四連発ダイヤ混乱の新記録。
 - 10(月) ●警視庁、二三年ぶりに「冤罪」取り壊し本部を設置。
 - 11(火) ●宮城県女川町漁協、女川原発の計画発表一〇年目に漁業補償交渉受け入れを決定。
 - 12(水) ●沼津市、下水処理に海水を利用する実験開始。
 - 13(木) ●前年の企業倒産一万五九四一件、負債総額は二兆二六五七億円で過去最高と判明。
 - 14(金) ●小学生のお年玉は、一三三九二円と第一勧銀。
 - 15(土) ●新日鐵釜石、早大破り初のラグビー日本一。
 - 16(日) ●東大、観測用ロケットにより初の銀河観測。
 - 17(月) ●障害者団体が手塚治虫の漫画はロボトミーを美化と批判、手塚もそれを認める、と新聞に。
 - 18(火) ●トヨタと日産、前年の自動車生産・輸出台数とも過去最高を記録と発表。
 - 19(水) ●阪神、球団設立以来初の黒字計上と発表。
 - 20(木) ●ジミー・カーター、米大統領に就任。玉簪土夫を在宅起訴。
 - 21(金) ●東京地裁、ロッキード事件で小佐野賢治・児玉簪土夫を在宅起訴。
 - 22(土) ●山形県大蔵村住民、死者一七人出した四十九年の山崩れは人災と、国と県に損害賠償提訴。
 - 23(日) ●お多福産業、「磁気付健康サンダル」を発表。差し押さえ、全面封鎖。
 - 24(月) ●東京国税局、児玉簪土夫の総資産三〇億円を差し押さえ、全面封鎖。
 - 25(火) ●正月の海外旅行土産の徴税額が一日当たり一八五〇万円で過去最高、と羽田税関発表。
 - 26(水) ●政府、領海を二〇に拡大と決定。
 - 27(木) ●東京地裁で田中角栄元首相「丸紅ルート」事件九被告の初公判(31日、全被告初公判)。
 - 28(金) ●都立高等保育学院が初めて男性の応募認める。
 - 29(土) ●四国初の原発、伊方二号が臨界に達する。
 - 30(日) ●米大統領特使としてモンテール副大統領来日。
 - 31(月) ●郵便貯金増加額が都銀上回る、と日銀発表。



▲日本初の静止衛星「きく2号」(2月23日) 宇宙開発事業団が種子島宇宙センターから打ち上げた技術試験衛星。3月6日、静止軌道に乗り、気象・通信衛星開発を促進した。



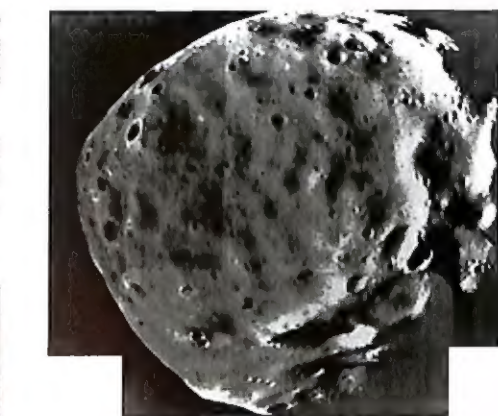
朝日新聞社



朝日新聞社

▲豪雪と戦う北日本(2月4日)前年12月末からの豪雪で3日までに死者31人、家屋倒壊212棟の被害を出した。写真は新潟県上越市で屋根の雪おろしをする市民。

▼竹島の領有権問題、再燃(2月)戦後、韓国が強硬に領有権を主張していた。領海12カイリ拡大で一触即発の事態となりがけたが、鳩山外相が22日、「今は争わぬ」とかわした。



ロイター・サン/共同通信社

▶首都高速で5人死亡(2月7日)羽田空港への下り車線を時速100キロで走っていた小型トラックが分離帯を越えて反対車線に入り、乗用車と激突、そこに後続のミキサー車が突っこんだ。昭和37年開通以来、最悪の事故。

◀火星の衛星、フォボスは隕石だった(2月18日)米航空宇宙局(NASA)が1975年8月に打ち上げた火星探査機「パイキング1号」が鮮明に撮影。フォボスは外部から飛来して火星引力圏内に取こまれた天体と判明。

◀鬼頭史郎判事補、罷免へ(2月1日)三木首相に検事総長の名をかたって電話、ロッキード事件に関する言質をとろうとした事件で、この日弾劾裁判所への訴追が決定され、3月23日に罷免された。

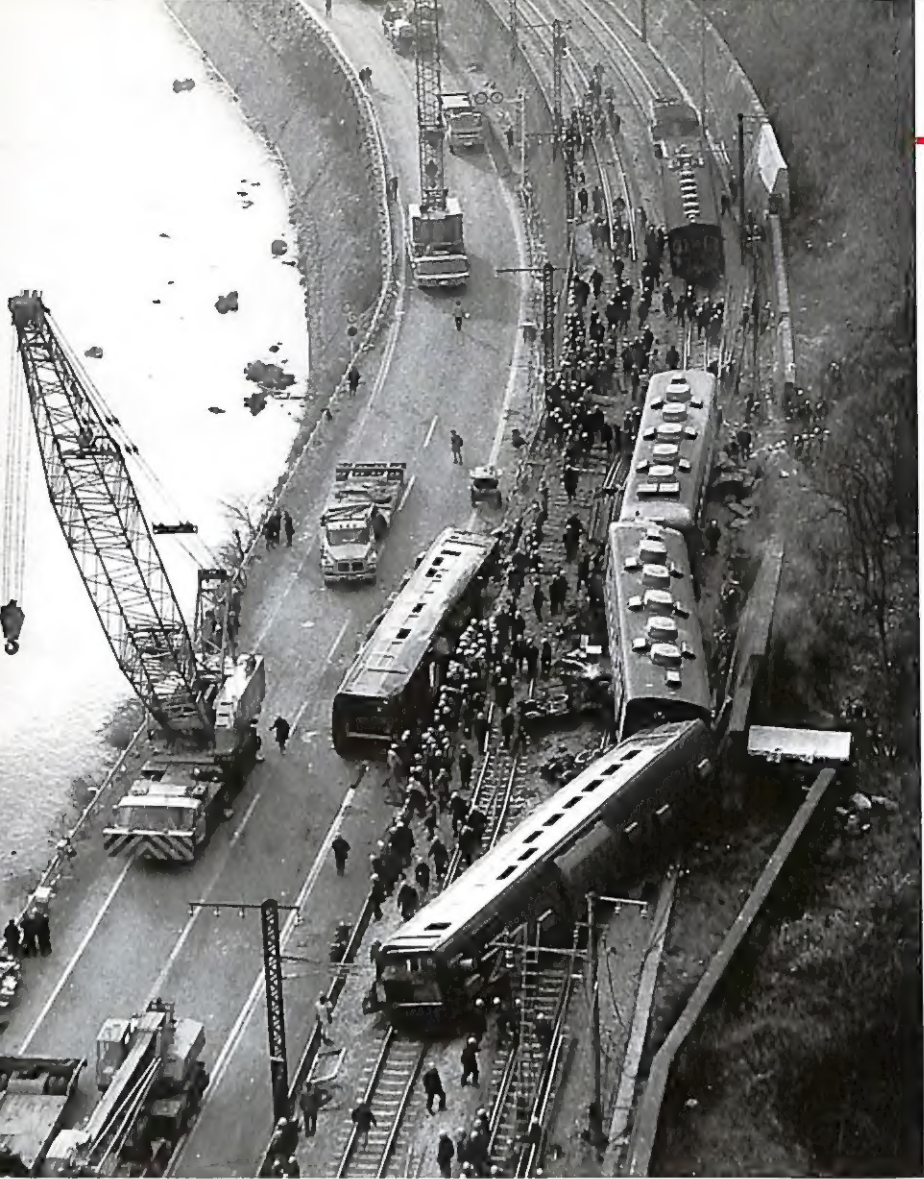
朝日新聞社

昭和52年2月

- 1 火 ●前年一月以来、東京・新宿で火曜日に続いた放火事件の容疑者、三四件目で現行犯逮捕
- 2 水 ●ソニー・東芝・三洋、ベータ方式のVTR統一規格製品を四月から発売と共同発表
- 3 木 ●年末からの豪雪で東北・北陸で二人死
- 4 金 ●日本ネクタイ組合連合会、ネクタイ廃止論の石原慎太郎環境庁長官に抗議の声明
- 5 土 ●E.C.、日本製ヘアリングにダンピング課税
- 6 日 ●二〇〇時代控え、スケッチャーが異常高値で加工業者が困惑、と新聞に
- 7 月 ●インフルエンザ猛威、都内二〇〇学級閉鎖
- 8 火 ●美空ひばり、NHKと和解し三年ぶりに出演
- 9 水 ●元チッソ水俣工場次長、水俣病刑事裁判公判で、猫に発症したデータの隠匿を認める
- 10 木 ●日米漁業協定調印。初の二〇〇の協定
- 11 金 ●女性のブツ流行にけり、倒産もと新聞に
- 12 土 ●富津市、鋸山のロープウェイでゴンドラ停止事故、乗客四十四人が八時間閉じこめられる
- 13 日 ●東京・上野動物園で爆弾騒ぎ、三万人が避難
- 14 月 ●東京駅で男性がチコレット四〇個を拾い届け、26日、致死量超す毒酸ナトリウム検出
- 15 火 ●仙台高裁、弘前大教授夫人殺人事件の再審で真犯人は別人と認定し那須隆に無罪判決
- 16 水 ●長谷川恒男、マッターホルン北壁の冬季単独登頂に日本人で初めて成功。史上二人目
- 17 木 ●水戸地裁、百里基地訴訟で自衛隊合憲の判断
- 18 金 ●連日客の六割が航空機利用と全日空調べ
- 19 土 ●早大クビ一部、部員の不祥事で一年間公式戦辞退と決定(7月1日解除)
- 20 日 ●第二回青梅マラソン参加者が一万人を突破
- 21 月 ●水俣病患者ら、二七患者がいると発言の石原環境庁長官に抗議
- 22 火 ●三浦雄一郎、南極の二四〇〇峰から滑降
- 23 水 ●国産初の静止衛星「きく2号」打ち上げ成功
- 24 木 ●前年の日本列島の土地総価額は四〇五兆円
- 25 金 ●国産初の戦闘機「F1支援戦闘機」公開
- 26 土 ●通産省、環境アセスメント法案に反対を表明
- 27 日 ●佐世保市で原子力船「むつ」受け入れ賛否両派が集会、反対派のデモに右翼が突入
- 28 月 ●小西六、超高度フィルム「ASA400」を発売と発表

昭和52年3月

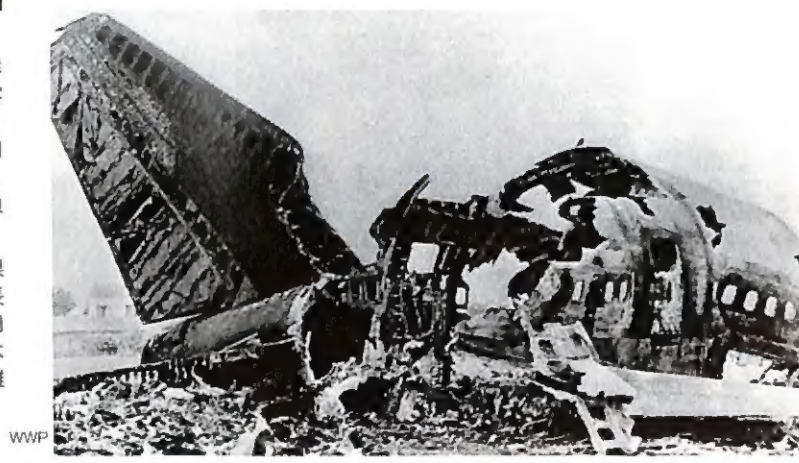
- 1 火 ●サントリー、麦芽一〇〇割の「メルツェンビール」を首都圏で発売
- 2 水 ●消費者団体が女子高生への美容講習は業者の宣伝と批判、教委、教組も同意、と新聞に
- 3 木 ●野村秋介が新右翼四人が経団連襲撃し龍城
- 4 金 ●ルーマニアで大地震、首都ブカレスト壊滅
- 5 土 ●佐野、世界フィギュアで日本初の三位入賞
- 6 日 ●全国原理運動被害者父母の会全国大会開催
- 7 月 ●群馬テレビが右翼団体の北方領土CM放映
- 8 火 ●国立近代美術館、米から返還された戦前画一五四点の展示を中止(7月9日、一部公開)
- 9 水 ●サラ金苦の主婦に先着強要の業者ら逮捕
- 10 木 ●名古屋市のパチンコメーカーがテレビつきパチンコ台を開発し、県警に許可要請
- 11 金 ●文部省、初の「学校外学習実態調査」都市部では小・中学生の過半が塾通い
- 12 土 ●在日仏大使館執事を四〇年つとめた高橋利明に仏政府がシュバリエ勲章を授与
- 13 日 ●神戸市で初の市営地下鉄「西神線」が開業
- 14 月 ●国府庁、田中角栄に四億八〇〇〇万円追徴
- 15 火 ●宝酒造、焼酎ブームの火つけ役「純」を発売
- 16 水 ●インドで総選挙(21日、国民会議派大敗が確定。ガンジー首相も落選し、人民党が政権)
- 17 木 ●全日空機乗っ取り未遂が一事件発生
- 18 金 ●東京デイズ(ニランド)の名義決定
- 19 土 ●平野前岐阜県知事二〇〇人を贈収賄で起訴
- 20 日 ●東大入試に初の全盲者、石川准君が合格
- 21 月 ●カーター米大統領、日米首脳会議で、日本の安保理常任国入りを支援と表明
- 22 火 ●韓国で民主救国宣言事件により金大中の有罪確定。民主派など、「民主救国憲章」を発表
- 23 水 ●鬼頭史郎判事補、二七電話事件で罷免
- 24 木 ●宮城教育大で演技や絵を描くなど型破り入試
- 25 金 ●「遠高狭」で不評の公団新設団地の空き家が、三月末で一六八〇〇戸超える、と新聞に
- 26 土 ●江田三郎、社会党を離党(5月22日死)
- 27 日 ●カナリア諸島のロスロテス空港でジャンボ機同士が衝突。史上最悪の五七五人が死亡
- 28 月 ●前年の日本人出国者一八五万人と法務省発表
- 29 火 ●天下り白書。前年度は、特殊法人役員の七六・五割が天下り
- 30 水 ●新幹線に車内広告が登場する、と新聞に
- 31 木 ●日ノ漁業交渉打ち切り、ソ連内での操業停止



共同通信社



朝日新聞社



WPP

▲北の湖、初の全勝優勝(3月27日)大阪府立体育会館で行われた大相撲春場所千秋楽で、意地を見せる先輩横綱輪島を水入りのすべり出し、8度目の賜杯を手にした。全勝優勝は昭和48年秋場所の輪島以来21場所ぶり。



読売新聞社

▲プロパンガス爆発(3月12日)早朝、横浜市の6階建てマンション4階で発生、7世帯が炎と煙に包まれた。はしご車を含めた29台の消防車が出動したが、22歳の主婦一人が死亡、8人が重軽傷を負った。

◀松下電器、「山下跳び」の山下俊彦新社長披露(3月23日)松下幸之助相談役(左)の指名を受け、平取締役から一気に24人を抜き頂点に。57歳。低成長時代のかじ取りを託された。

▼カナリア諸島でジャンボ機同士が激突(3月27日)滑走中のKLM機にパン・アメリカン機が誘導路から突っこみ、両機とも爆発・炎上した。合わせて575人が死亡、大量輸送時代の航空機事故の恐怖を世界中に伝えた。



読売新聞社



証言・あの日この日
つげ義春 (39)

3月12日(土) 〈不動産屋の車が迎えに来て、二キロほど離れた多摩川住宅団地へ案内された。……小ぶりの三DKだったが頭金七十万で月々一万五千円ほどの残債を先住者から引継ぐという方式のものだった。頭金の大きいのが難点だが、自分のように収入の不安定の者は家賃にいつもおびやかされる。それが月々一万五千円というのは魅力だ。この程度が現実的な物件といえるかもしれない。しかし、頭金を出したら一文なしになってしまう。それはちょっと勇気のいることだ。』(『つげ義春日記』)

生まれたばかりの子どもの泣き声がうるさいと、同じアパートの住人から文句を言われるつげ義春にとって家を持つのは切実な悩みだ。定収入のない身に毎月の家賃4万円は「重苦しい強迫」だ。幸い、今なら旧作の文庫化で「頭金」分の貯金があるのだが……。 (坪内祐三)



▲ふえ続けるベトナム難民(5月11日)1975年に数百人、この年には1万6000人に達した。写真はシンガポール沖で日本船に救助され、北九州市に到着した79人。すでに施設は満員だった。

▼成田鉄塔を強制撤去(5月6日)空港開港を急ぐ公団が機動隊5000人を動員、反対同盟が建設した2基を倒した。9日までの抗争で双方1名ずつ初めての死者を出した。



共同通信社



朝日新聞社

◀ジーパンは是非論争(5月11日)大阪大学の米人講師ベータさん(56)がジーンズ姿の女性の受講を拒否したため、学生たちが女性差別だと抗議、全国的話題となった。講師は結局、日本の行くすえを憂えつつ辞任した。



共同通信社



共同通信社



▲福田首相、英保守党党首サッチャーと会見(4月14日)後に英国首相となる「鉄の女」と談笑。福田首相は翌々年の東京サミットを意識し経済に強いところを見せたが、総裁選に敗れ、出番を失った。



共同通信社

▲リニアモーターカー、相次ぎ公開(4月)14日には日本航空が川崎市の実験場で時速138キロの試走を披露、16日には国鉄が日向市で時速500キロをめざす実験車(写真)を公開した。

▲アラシ・ドロン、フジテレビに出演(4月23日)12年ぶりの来日。「太陽がいっぱい」などで知られるフランスの人気俳優に直接インタビューできる番組とあって、視聴者募集100人に、なんと1万人以上が応募。

▶石原慎太郎環境庁長官、水俣を視察(4月22日)胎児性水俣病患者らに陳謝、救済に全力を尽くすと約束。しかし地元への反応は冷たく、長官も「二重患者」「IQの低い人たち」などと発言、物議を醸した。



共同通信社

▲転覆船から19時間ぶり救出(4月28日)千葉県浦安沖で鋼材運搬船が強風のため転覆、乗組員二人が行方不明になった。翌日、捜索隊の呼びかけに回答があり、船底をカッターで切断して機関長を救出。船長は発見できなかった。



毎日新聞社

▶エアバス、大阪空港で試験飛行(4月8日)運輸省が騒音、大気汚染などを調査。初日の騒音は予測値を上回ったが、5月には日航ジャンボ、全日空トライスターが定期便として就航。国内線も大量輸送時代に入った。



朝日新聞社



CORBIS BETTMANN/PPS

▼「オリエント急行」廃止(5月20日)1920年代にはロンドン・イスタンブール間7カ国をつないだ夢の大陸横断鉄道も、この頃は赤字続きだった。写真はパリのリヨン駅を出発する最後の便。

▶「魚かくし」疑惑(5月13日)写真は冷凍魚の在庫調査をする東京都の係員。200カイリ時代突入で日ソ漁業交渉が難航、水産会社などが値上りを予想して「在庫調整」した。

昭和52年4月

- 1(金)名古屋の河合塾、東京に進出し駒場校開校。
- 徳本千帆、テレビで芸名をセリにかけ「二〇〇円で売却、新芸名を樹木希林とする」。
- 2(土)労働省、週休二日制採用企業は四三三で年間横ばい、完全週休二日制は二四四と発表。
- 3(日)沖縄県石川市で戦時中に米軍が投下した大型不発弾撤去。八〇〇人が一時避難。
- 4(月)パイオニア、米ワナナー・ケル社と共同で双方CATVの商業化に成功と発表。
- 5(火)河野満、世界卓球選手権で中国の郭躍を破り初優勝。日本の優勝は八年ぶり。
- 6(水)電電公社、六四の超LSIを開発と発表。
- 7(木)尾上松緑、坂東三郎、「オセロ」を初演。
- 8(金)東京で環境保護テーマに日米合同コンサート「ロッキング・コナツ・レビュー」開催。
- 9(土)金武湖を守る会、石油備蓄基地差止め申請。
- 10(日)岡本綾子、ワールド・レディス・ゴルフトーナメントで初優勝。
- 11(月)二本松市で東北新幹線工事の橋桁が崩落。
- 12(火)身障者団体、川崎市で車椅子によるバス乗車を求め実力行使。三五台が連休。
- 13(水)中曽根康弘、衆院口事件特別委員で証人喚問。
- 14(木)米、韓国から核ミサイルの撤去開始と発表。
- 15(金)総理府発表、前年の平均貯蓄額は三七七万円。
- 16(土)S・スタローン主演映画「ロッキー」封切。平凡出版(現・マガジンハウス)、月刊「クロワッサン」を創刊。
- 17(日)東京の表参道に暴走族数千台、機動隊が出動。
- 18(月)地震予知連絡会の東海地域判定会が発足。
- 19(火)桜井市メスリ山古墳出土の円筒埴輪が復元、公開される。高さ二・四メートルで日本最大。
- 20(水)修学旅行協会の調べで、前年の修学旅行での飛行機利用者は五万六〇〇〇人、と新聞に。
- 21(木)コタック社、インスタントカメラを日本発売。
- 22(金)パイオニア、音響製品を米で現地生産と発表。
- 23(土)合成洗剤追放運動団体が第一回研究会開催。
- 24(日)高速増速実験「常陽」が臨界に達する。
- 25(月)日劇シンキング・チーム、四一年の歴史に幕。
- 26(火)中山千夏、青島幸男らが革新自由連合を結成。
- 27(水)自民党、外務省で日韓大陸棚協定を強行可決。
- 28(木)日本航空、スチュワーデスの制服を一新、ミニスカ・チャネル文。
- 29(金)山下泰裕、全日本柔道選手権に初優勝。
- 30(土)厚生省、米の圧力で相模類の防がびを承認。

- 1(日)総理府人口推計で、戦後生まれが過半数に。
- 2(月)国立公共統一大学の大学入試センター発足。
- 3(火)北海道各地で雪、紋別では積雪三〇センチを記録。
- 4(水)最高裁、全通中郵事件(33年)で公営法の争議行為、一律禁止を合憲とし、逆転の有罪判決。
- 5(木)スーパーカー、世界名車コレクション開催。
- 6(金)空港公団、三里塚反対同盟の鉄塔を強制撤去。
- 7(土)福田首相、ロンドンサミットで経済成長ハセ七割を約束(11月9日、達成困難と表明)。
- 8(日)三里塚闘争で機動隊のガス弾直撃を受け、反対同盟支援の東山薫重傷(10日死亡)。
- 9(月)全運輸省労組、手抜き車検の実態を告発。
- 10(火)春の医師国家試験合格率が近年最悪の七七・七。
- 11(水)米、フロンガスを二年後に全面禁止と発表。
- 12(木)第一回マイクロ・コンピュータ・ショー開催。
- 13(金)為替国素化で海外旅行持ち出し外貨制限廃止。
- 14(土)横浜市、久里浜病院にアルコール中毒専門病棟が開設。日本のアルコール対策の拠点病院に。
- 15(日)沖縄反戦地主会、期限切れ土地の返還を申請(18日、地籍明細化法公布し強制使用延長)。
- 16(月)患癌にはもう札幌五輪の優勝、樹木の生長遅く、森林復元には一〇〇年かかると新聞に。
- 17(火)観光白書、海外旅行女性の四四・四は二〇代。
- 18(水)医療分業率は二・六割と厚生省発表。
- 19(木)大阪国際空港のエアバス乗り入れ開始。
- 20(金)パリ・イスタンブールのオリエント急行廃止。衆院ロッキード事件特別委員、証人喚問を三回拒否した児玉富士夫を最高検に告発。
- 21(土)日大歯学部、X線量計が従来の一〇〇分の一の歯科用X線装置を開発と発表。
- 22(日)中学英語教科書にビートルズ登場、と新聞に。
- 23(月)東京六大学で法政が三連覇。江川卓は八勝。
- 24(火)慶大商学部で入試問題漏洩の二教授を解職。教員会に設立。
- 25(水)社会市民連合が全国準備会結成総会を開催。
- 26(木)日本一三億円不正支払いとロッキード社。
- 27(金)日ソ漁業暫定協定調印。
- 28(土)賀田恒夫ら、焼き魚などの発癌性は生野菜の汁で消えると日本農芸学会で発表。
- 29(日)成田に向かう機動隊車に無線操縦の車が激突。
- 30(月)国際看護婦協会大会、八八カ国の看護婦参加。
- 31(火)カーター米大統領、カストロ・キコバ首相との親善交換を発表。



▲カンカンとランラン(6月4日)上野動物園のパンダの5年越しの恋がやっと成就。10月末頃の2世誕生が期待されたが、受胎のきざしはあったものの、出産にはいたらなかった。

▲「ねむの木」の詩がきこえるに国際赤十字映画祭特別優秀賞(6月26日)宮城まり子監督・主演。みずから園長をつとめる施設の自閉症児と周囲の交流を、音楽劇風に描いた。写真は羽田で園児の出迎えを受ける宮城。



共同通信社

▲樋口久子(31)、全米女子プロ制覇(6月12日)米サウスカロライナ州で行われた大会で世界のゴルフ界を相手に日本人初の快挙。写真は8番ホールでパーティーを決めて喜ぶ樋口。

▲コレラ・パニック(6月15日)和歌山県有田市で二人の真性コレラ患者が発見され大騒ぎ。写真は16日、路地裏を消毒する市職員。その後、真性患者が23人にも達したが、感染源は不明。

▲マンズフィールド新駐日大使着任(6月7日)長く米上院議員をつとめてきた74歳のベテラン。「日本はアジア外交政策の要」と発言。写真は10日、夫人同伴で宮中に参内した新大使。



共同通信社 ロイター・サン/共同通信社



▲児玉誉士夫、東京地裁初公判に出廷(6月2日)田中元首相逮捕にいたった構造汚職、ロッキード事件の黒幕が1年4ヵ月ぶりに姿を見せた(中央)。しかし、昭和59年に病死、公訴棄却となる。



朝日新聞社



共同通信社

- 昭和52年6月
- 1(水)タバコの「マイルドセブン」発売。
 - 2(木)東京地裁でロッキード事件児玉元初公判。
 - 3(金)余暇開発センター、飲酒行動調査発表。首都圏では七人に一人がアルコール中毒。
 - 4(土)東京・秋葉原、この日までに、区役所職員をよそおった消防器販売店を詐欺容疑で逮捕。
 - 5(日)東京で全国公害被害者総行動、開催。
 - 6(月)石川県上町で町長が7期連続無投票当選。
 - 7(火)一人の米消費量が一年で三〇〇減。農林省。
 - 8(水)二都県、東海大地震想定災害訓練実施。
 - 9(木)稲作を推進する会、新潟県新潟市で減反に反対し田植えを強行。
 - 10(金)中教審委員に初めて日教組系の委員任命。シャープ、世界初の厚さ五ミリの電卓発売。
 - 11(土)北海道新聞のコラムで「窓際おじさん」の新語が使われる(窓際族)が流行語に。
 - 12(日)樋口久子、全米女子プロゴルフ選手権で優勝。が岐阜地裁に地位保全の仮処分申請。
 - 13(月)ジパング、喫煙を理由に解雇された女子社員が岐阜地裁に地位保全の仮処分申請。
 - 14(火)南硫黄島南東の海底火山を「昭洋山」と命名。
 - 15(水)有田市で集団コレラ発生。汚染指定地域に。
 - 16(木)ソ連共産党書記長ブレジネフ、最高会議幹部会議長に就任。初の国家元首兼任。
 - 17(金)通産省、マルチ商法が普及したため全国二業者を都道府県に通知。
 - 18(土)北大路放也ら出演の映画「八甲田山」封切。
 - 19(日)長良川決壊の被災者、国に一億円の賠償提訴。
 - 20(月)韓国初の原発「古里一号」が稼働。
 - 21(火)タイの日系企業で労働紛争相次ぎ、貿易振興会ハコク事務所は交渉決裂で一時的休業。
 - 22(水)いすゞなど四社、五四年騒音規制達成車公開。
 - 23(木)米亡命中の金野元元KCIA部長、金大中事件は当時の李承晩部長が指揮と米下院で証言。
 - 24(金)豚肉高騰、卸値が一二年ぶりの高値になる。前田久美子、モスクワの世界パレエ・コンクールで三位の銅賞獲得。
 - 25(土)大企業進出から守る中小企業分野調整法公布。
 - 26(日)宮城まり子監督の「ねむの木」の詩がきこえるが国際赤十字映画祭特別優秀賞を受賞。
 - 27(月)前年の遠洋漁獲量は七割減と農林省発表。
 - 28(火)浅草の木馬館、一年以来の安来節公演に幕。
 - 29(水)政府、円急騰に対応、黒字減らしに材料備蓄。
 - 30(木)東南アジア条約機構(SEATO)解散。

20世紀博物館 新冠町レコード館 所蔵三五万枚、サラブレッドの町に オープンしたレコード専門館

桑原茂夫

▲1枚1枚から記憶を呼び起こされそう、シングル盤ジャケットのコーナー。

LPなどのレコード盤から、一気にCDへ移行するというオーディオ革命が起ころいつつあった時、北海道の小さな町が、レコードの収集と保存を町の公的な事業として始め、ついにレコードの博物館まで建設してしまっただけ。



▼レコード針の数々。レコード愛好家から寄せられたレコード針のケースには、まだ使われていない針も残っている。



このサラブレッドの町がレコード集めに力を注ぐようになったきっかけは、町内のジャズレコード愛好家によるサークル活動にあった。CD時代に抗してレコードコンサートを開くなど、その積極的な活動は町を刺激し、レコードの収集・保存の意義を認識させることになった。こうして、平成三年に「レ・コード&

音楽による町づくり」がスタート。レコードの間にわざわざ点を打ったのは、「再び」を意味するレと、ラテン語で「心」を意味するコードを並列させたかったから。つまり「忘れていたものをもう一度」という思いをこめた表現なのだという。具体的な構想の方は、博物館建設を含む大胆なものだったが、それだけに、ラジオなどのマスメディアが目して、全国に伝えてくれた。これで構想は一気に軌道に乗る。全国津々浦々からレコードが集まり始めたのである。

そうなる前後は引けない。博物館建設にも拍車がかかり、平成九年六月八日にオープンとなった。それまでに集まったレコードは三五万枚余り。堂々たる数字だ。しかし、収容能力は六〇万枚、目標は一〇〇万枚というから、まだまだ。博物館自体、リアルタイムで生きていて、これからもたくさんのレコードを貪欲に呑みこもうとしているのだ。

もちろん博物館は、レコードを収集・保存しているだけではない。たとえば、エジソンが発明した最初のレコードに吹



▲明治時代に使われていた蓄音機。1904年、イギリス・グラモフォン社製作のもので、ラッパはオーケストラでできている。背景は当時の合唱シーン。



▲6000平方メートル余の広さを持つ建物は、レコードのターンテーブルをイメージして建てられた。中央は展望タワー。

ベストセラー

「確かなものを求めた時代 世界中で話題騒然『ルーツ』」

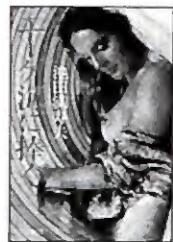
画家・池田満寿夫の小説「エーゲ海に捧ぐ」が売れた。この作品は文芸誌「野性時代」に発表され同誌新人文学賞を受賞、次いで芥川賞を受賞し、話題を呼んでいた。サンフランシスコのスタジオで、外国人の恋人と、彼女を撮影する女性が織りなすエロチックなシーンを目にしながら、東京の妻からの長い電話を聞く「私」という設定で、視覚的な要素を強く感じさせた。作者自身は、外国にいて「いつも頭の中が言葉でいっぱいになって……日本語で何か書かずにいられない」と記している。あふれる言葉と、

●昭和52年のベストセラー

- 1位 『間違いだらけのクルマ選び』(徳大寺有恒/草思社)
- 2位 『頭のいい銀行利用法』(野末陳平/青春出版社)
- 3位 『八甲田山死の彷徨』(新田次郎/新潮社)
- 4位 『随筆人間革命』(池田大作/聖教新聞社)
- 5位 『知的生活の方法』(渡部昇一/講談社)
- 6位 『人間の証明』(森村誠一/光文社)
- 7位 『エーゲ海に捧ぐ』(池田満寿夫/角川書店)
- 8位 『頭の体操(5)』(多湖輝/光文社)
- 9位 『ルーツ(上・下)』(A・ヘイリー/社会思想社)
- 10位 『事故のてんまつ』(臼井吉見/筑摩書房)



▲「間違いだらけのクルマ選び」(800円)



▲「エーゲ海に捧ぐ」(940円)



▲「ルーツ」(上下各1200円)

画家の目がひとつになった作品だった。

またこの年、珍しく翻訳本がベストセラーに進出した。世界的なベストセラー、アレックス・ヘイリーの「ルーツ」だ。黒人である自分のルーツをたずねてアメリカへ渡るなど、一二年間かけて書かれたこの物語は、アメリカでテレビドラマ化され、話題騒然。日本でも一〇月にテレビ放映され評判になった。

物語は一七五〇年、西アフリカのある村でクンタという少年が生まれたところから始まる。クンタの祖父は村を飢饉から救った聖者であり、クンタはその誇りを忘れない。やがて暴力的に拉致され奴隷の身となっても、白人に屈することなく闘いを挑んだクンタの物語は、黒人差別の無意味さを根底から明らかにした。何かを確かめようという意味では「間違いだらけのクルマ選び」も、時代の雰囲気や成長してきた自動車産業とクルマ社会の中で、著者の徳大寺有恒は、初めてユーザー側に立った本格的自動車評論を成立させた。この後も、改訂のたびにベストセラーに名をつらねている。

スターと名場面

「天は我らを見放した」が評判 遭難の実態を描く「八甲田山」

テレビCMで「天は我らを見放した」というせりふが繰り返され評判になった映画「八甲田山」(森谷司郎監督)は、明治三五年に実際に起こった雪中行軍中の遭難を題材にしたもの。大隊長(三国連太郎)が中隊長(北大路欣也)の指揮に介入して結局は遭難した部隊と、高倉健演じる中隊長を中心に少数精鋭で挑み成功した部隊とを、対照的に描き出し、その悲劇の実態を浮き彫りにした。

同じ雪でも、生活実感につながる雪を背景にした「竹山ひとり旅」もこの年の映画。

新藤兼人監督が、津軽三味線の高橋竹山の実像と、そこにいたる生涯のドラマを重ねて見せた。門付け芸人の旅から旅への厳しい現実



松竹提供

▲「八甲田山」から。ひとかたまりになって寒さをしのぐとするが、ばたばたと倒れていくシーン。
▶「幸福の黄色いハンカチ」のラストシーン。自分を待っていた妻(倍賞千恵子)に駆け寄る男(高倉健)。頭上には黄色いハンカチがはためく。

▼「竹山ひとり旅」の竹山(林隆三)とその母(左・乙羽信子)、妻(右・倍賞美津子)。

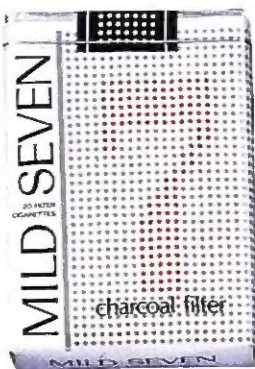


近代映画協会提供

モノ語り77

手作り感覚と健康志向が受けた 「プリントゴッコ」「磁気付健康サンダル」 「ふとん乾燥機」

▲1本で多様な使い方ができる筆記具 ボールペンで知られるゼブラが、シャープペンシル兼用のボールペン「シャープボ」を発売した。1本2000円と比較的高価だったが、右にまわせばシャープペンシル、左にまわせばボールペンというアイデアが文具好きにも受けて、人気を呼んだ。



▲タバコはマイルド志向に 日本専売公社(現・日本たばこ産業)は、当時ベストセラーだったセブンスター姉妹品として、ニコチンやタールの量を少なくした「マイルドセブン」をこの年発売した。20本入り150円。セブンスターのマイルド・バージョンだったが、翌年にはセブンスターを抜いて売上本数ナンバーワンとなり、今に続いている。

▼生ビールの樽が買えるようになった 家庭でもビヤホールの生を望む声が高まる中、アサヒビールが、樽生に似せたワンウェイの小型容器を開発して売り出した「アサヒ生ビール ミニ樽」が大ヒット。軽金属社との共同研究で、航空力学を応用したアルミの耐圧容器を開発、7リットルの生ビールを入れることに成功した。注出器には手軽なミニサーバーを採用、ビヤホール気分を味わせた。3100円。



▲焼酎のイメージを一新した焼酎 焼酎というと、安くて悪酔いしやすい酒という、マイナスイメージがまだ根強かった頃に、宝酒造が開発した「純」が、飲みやすくおいしい酒として評判になりよく売れた。大麦を原料とする原酒を甲類焼酎にブレンドし、特殊な活性炭で濾過する技法から生まれた。720ミリリットル580円という価格も新しい需要を喚起した。



▼健康は足元から 健康グッズの定番ともなった「磁気付健康サンダル」が、この年、お多福産業から1足1500円で発売された。中底にセットされた数個の永久磁石が磁力線を生み、それが足裏のツボを刺激する。それとともに、同社が独自に研究開発して作り出した表面の凹凸が、青竹踏みと同じように足裏を指圧することになるというもの。立ちづめの仕事の人などに愛用された。



▲印刷を身近なものにした画期的商品 家庭でカラフルな年賀状が印刷できるという、簡易製版・印刷機「プリントゴッコ」が理想科学工業から発売された。1セット9800円と、年賀状グッズとしては高価だったが、その手作り感覚と、出来映えのよさが受けてヒット、超ロングセラーになった。文具店や百貨店での店頭デモンストレーションも絶大な効果を生んで、今や年末年始の定番商品と目されるようにさえた。

山下泰裕(一九)

僅差ながら史上最年少優勝
全日本九連覇へスタート!

全日本柔道選手権大会は、毎年四月二十九日に行われる。昭和五二年の大会は、上村春樹(二六)、遠藤純男(二六)、高木長之助(二八)の社会人三人と、東海大学二年生の山下泰裕の四人が、「四強」として下馬評が高く、このうちの誰かが優勝するものと予想されていた。東京予選に優勝してシードされた山下は最初から好調だった。準々決勝まではすべて一本勝ちで勝ち上がり、準決勝では、それまで勝ったことのない高木を「有効」で破った。決勝の相手は前年の優勝者で二連覇をねらう遠藤純男である。

試合は激しい組み手争いから始まった。両者は互いに譲らず、後半に入っても決め手がないまま、終了のブザーが鳴った。勝敗は僅差だった。副審の旗が紅白に分かれ、そして、主審の手がさつと山下に上がった。優勝の瞬間だった。その時、山下は十九歳と一一ヵ月。昭和三四年に、猪熊功が二歳で優勝した記録を更新する、史上最年少の記録だった。以降、山下は同大会九連覇への道をつき進む。

山下泰裕は、昭和三年六月一日、熊本県上益城郡矢部町浜生まれ。柔道を始めるようになったのは小学校三年生の時からだった。六年生になると、まわりに敵がいなくなった。

そんな山下の運命を決定したのが、熊本市立藤園中学柔道部監督の白石礼介との出会いだった。大きな身体に似合わず動きの軽い山下を見て、白石は「ものになる」と直感したという。藤園中学に入学した山下は、白石の指導でめきめきと力をつけていった。中学二年になると、山下の名は九州の柔道界に知れ渡るようになった。四八年、熊本市の九州学院高校に入学。そして、一年生でいきなりインターハイの重量級に優勝した。

二年生の時、山下に大きな転機が訪れる。それは、神奈川県東海大相模高校への転入だった。翌年、山下は高校三年生で全日本選手権に出場し、三位になった。小さい頃から、「怪童」「大器」と言われながら、結局はものにならずに、未完の大器で終わってしまう人は多い。ほとんどが周囲の期待に押しつぶされてしまっている。しかし、山下はそれとはまったく違う存在だった。そのスケールの大きさに、山下の師である佐藤寛は、

ただ驚くばかりだった。そして、その大きさがいかに発揮されたのが、昭和五九年のロサンゼルス・オリンピックにおける優勝だった。

「もちろんプレッシャーは誰にでもありますが。だから、私はプレッシャーとは戦わずに、受け入れるようにしています。そして内部から気力を高めていく」外から見ているかぎり、試合にのぞんだ山下はいつもリラックスしているように見える。「それは違います。最初からリラックス

していたら勝負になりません。自分の試合を後からビデオで見て、リラックスしているように見えるのが理想的だと思います。五二年の時も、オリンピックの時も、そのように見えましたね」と山下は語る。

山下の記録は、昭和五二年、〇月から引退する六〇年六月まで、〇三連覇。中学時代からの成績は、五二八勝・六敗・五引き分けて、勝率はなんと九割七分厘である。現在、東海大学教授、そして全日本男子監督をつとめる。



▲昭和59年、ロサンゼルス・オリンピックの無差別級で、エジプトのラシュワン(写真右)を破り金メダル



▲昭和52年4月29日、全日本で初優勝した山下選手。翌年は高木長之助、54~56年遠藤純男、57年松井勲、58~60年齊藤仁をくだして全日本九連覇を達成する

ニュージーランド沖で発見！ カラー写真四枚に撮られた 「ニュー・ネッシー」の正体

その日はよく晴れて、海はべた風の状況だった。昭和五二年四月二五日、午前一〇時四〇分。大洋漁業（現・マルハ）のトロール漁船「瑞洋丸」（船長・田中昭）は、ニュージーランドのクライストチャーチ沖五五・五の領域で操業中、全長一〇メートルにおよぶ動物の死骸を引き上げた。

船尾で作業をしていた甲板長は、マイクでブリッジにいた船長に「クジラの死骸が引っかけたんですが……」と報告。関係者がマスコミに語った記録を総合すると、その時の船の様子は次のようになる。

うになる。

死骸からは悪臭が漂い、溶けた脂肪がしたり、糸を引きながら甲板に流れ落ちる。ほかの魚に汁がまぎってはいけな

いと、甲板中央のウインチ前にいったん置き、網にかかったソコダラなどの処理を行った。

一時間後、作業が終わってひと息ついた乗組員たちはあらためて死骸を見た。全長約一〇メートル。首の長さは一・五メートル。背骨付近に赤黒い肉がついている。一休、何なのだろう、クジラか、巨大な亀か。何人かの甲板員は「漫画に出てくる怪獣

に似ている」とも言った。船長は衛生管理上、この死骸を投棄することにした。

投棄する前にトロール部製造課課長代理・矢野道彦氏（三九）は写真を撮り、詳細なスケッチをした。撮影した写真はカラーフィルムで四枚。

六月一〇日に「瑞洋丸」から一人下船した矢野氏は、フィルムと怪獣の「ひげ」（角質鰭条）を東京に持ち帰った。写真を現像して仲間に見せると「なんだこれは？」と議論百出、「専門家にお見せしろ」ということに。東京水産大学教授・安田富士郎氏のもとに持ちこまれた。

七月二〇日「海の日」。奇しくもこの日に矢野氏の持ち帰った写真と情報が「朝日新聞」「サンケイ新聞」にスクープされ、日本中が一気に「ニュー・ネッシー」の話題で沸き返る。矢野氏は二〇日から三日間でテレビ出演四回、共同記者会見四回、座談会二回というスケジュールをこなさなければならなかったほどだ。

誰もが思ったことは、この死骸が首長竜（プレシオサウルス）ではないか、ということだ。首長竜は中生代ジュラ紀（約一億八〇〇〇万年前）に繁栄し、白

亜紀（約七〇〇万年前）に絶滅した海生の爬虫類である。それが生きていたということになると、大変な大発見だ。

九三八年に発見されたシーラカンス（七〇〇〇万年前に絶滅したと信じられていた）の発見以来ということになるだろう。

「南海の怪獣」「ニュー・ネッシー」とはやされたこの死骸は、科学者たちの興味を引いた。「ひげ」（角質鰭条）のミノ酸組成の分析を行った安田教授（前出）の提案で、佐々木忠義（東京水産大学）、神谷敏郎（東京大学医学部）、阿部宗明（伊藤魚学振興財団）各氏のほか、死体解剖、家畜解剖、鯨学、古生物などの学者一四名が結集してこの献体（死骸）の検討が行われた。結論は日仏海洋学会に発表することとして、同年九月に中間発表がなされた。しかしその内容は「ひげ」の組成はウバザメに近いが、古代の爬虫類である可能性も完全には否定できない」という慎重なものであった。

四枚の写真は「七〇〇〇万年前の古代恐竜が存在するかもしれない」というロマンを茶の間に残し、謎の「怪獣」は謎のまま広大な海に帰っていったのだ。



▲昭和52年4月25日「発見された怪獣」。この年9月19日、東京水産大学で開かれた「怪獣問題討論会」では、「怪獣」の角質成分を分析し、化学成分はウバザメにきわめてよく一致する

という報告もされている

四一年間の歴史に幕！ 日劇ダンシング・チーム 涙いっぱいの最終公演

◀日劇ダンシング・チームの最後の公演「ボンジュール・パリ」より、日劇ロケット・ビューティーズのライン・ダンス。

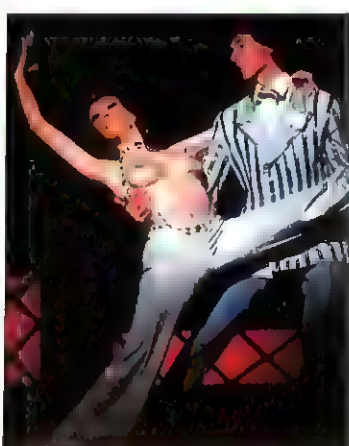
東京・有楽町の日劇ダンシング・チーム（NDT）によるレビューが、昭和五二年四月二五日、四一年にわたる歴史の幕を閉じた。二月五日から始まった最終公演はパリのムーラン・ルージュからドリス・ガールズを迎えた「ボンジュール・パリ」。迫力ある本場のフレンチ・カンカンや巧みなスードショーを見せる外国勢

に対抗意識を燃やしてか、NDTはそれに劣らぬ熱気あふれるダンスを披露した。最後の日劇レビューを見ようと、劇場は詰めかけたファンで超満員になり、立見も出るほど。場面が変わるたびに拍手が沸き起こり、「西川さーん」「真島さーん」という声援が飛びかった。ダンサーは涙をボロボロ流しながら踊り、ファン

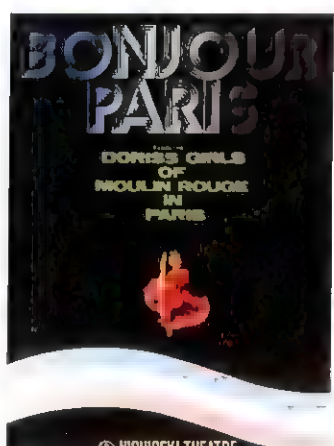
も涙いっぱいのフィナーレとなった。「本当に日劇レビューは終わってしまうのか、半信半疑でした。ダンサーたちもまったく同じ気持ちだったでしょう」演劇ジャーナリストの橋本与志夫氏は、二〇年後の今も日劇ダンシング・チームの解散を惜しんでいる。ダンサーたちが「日劇レビュー公演打ち切り」の決定を知ったのは三月三一日の開演前のことで、まったく寝耳に水の話だった。次いで翌四月一日、東宝専務取締役の両宮恒之から「レビューからミュージカルへ路線変更する」むねの一文が公表された。突然の通達に驚いた西川純代、真島茂樹らNDT所属のダンサー五八名は、「レビューの灯を消さないでほしい」と東宝に嘆願書を提出。これに対し東宝は「NDTの解散はない」と明言したが、レビューの継続は約束されなかった。



◀本場パリの「ムーラン・ルージュ」からやって来たドリス・ガールズの妖艶なショー。



◀日劇ダンシング・チーム最後の公演となった「ボンジュール・パリ」のプログラム。



日劇レビューは昭和二一年、当時東宝の取締役・支配人だった秦豊吉により創設され、当初は東宝ダンシング・チームと呼ばれていた。第一回公演は「ジャズとダンス」。選ばれた肉体系の女性たちによる一糸乱れぬライン・ダンスは、演劇評論家の飯島正らに「元氣良く足並みをそろえて舞台を蹴っているのは、非常に心強い」と好評をもって迎えられた。公演を重ねるうちに、宝塚には見られぬ成熟した大人のエロティシズムを醸し出す華やかな日劇レビューは、有楽町名物となる。しかし、その陰には今でも語りぐさとなっている厳しい練習があった。棒や笞のムチが飛び交うのは、「軍隊よりも厳しい」と言われた。

終戦の前後、約一年ほどの休演期間があったが、昭和二〇年の秋にはいち早く

復活。活気あふれる激しいダンスは、長い戦争に疲れはてた人々の心を、明るい気分で満たしてくれた。昭和三〇年代には全盛期を迎える。団員も二〇〇名を超えて、ロンドンなどの海外公演も行った。しかし、昭和四〇年代に入ると、海外のミュージック・ホール閉鎖のニュースも伝えられるようになり、日劇の観客動員数も落ちてきた。

「カラーテレビの影響が大きくなり、舞台もテレビの後追いになってしまったからでしょう。企画の貧困、大物プロデューサー不在などの理由もあげられますが、時代の流れだったのでしょうかね」

橋本氏は、松竹や宝塚とは違った東宝の時代を現出させた舞台作りを評価しながらも、NDTの魅力を生かしきれなかったことを痛がっている。

路線変更した日劇は、その後、歌手のビッグショーなどを行っていたが、昭和五六年三月、日劇ビルの解体が決まり、日劇自体も最後を迎える。東宝は、二月二五日から三月二五日まで「サヨナラ日劇フェスティバル ああ栄光の半世紀」の公演を決定。散り散りに活動していたNDTの現役メンバー、九名のほか、退団したメンバーも動員し約五〇名のダンサーによるグラント・レビューが実現する。「ダンシング・チームのメンバーも、ファンも、東宝自身にとっても、きちんとした最終公演が持てて、本当によかった」と橋本氏は語る。ちなみに松竹歌劇団は翌五七年、国際劇場で最終公演を行う。戦前から日劇レビューの大ファンだった橋本氏は、平成八年に「日劇レビュー史」（三栄書房刊）を刊行し、NDTメンバーに惜別の辞を贈っている。

サラリーマンに“冬の時代”到来! 「解体」され、伊藤忠に吸収合併された 名門・安宅マン3600人の運命



◀昭和51年8月18日、上部団体の全商社とともに、合併反対を掲げて伊藤忠本社にデモをかける安宅労組。大阪・御堂筋で。
日本経済新聞社

多額の負債を抱えた名門商社・安宅産業が、この年、伊藤忠商事に吸収合併され、七三年の歴史の幕を閉じた。オイル・ショックの直撃で、構造変動を強いられた日本株式会社、のサラリーマンにとって、いよいよつらく厳しい時代に突入したことを覚悟させる事件だった。

うつろな「万歳」が流れた 安宅の「解散パーティー」

「安宅産業バンザイ」 「化学品本部万歳」 「大塚本部長万歳」
日本株式会社の中核である東京・大手町のビルの上階から、〇〇人余りのビ

ジネスマンや〇〇の声が流れていた。だが、その声には「万歳」につきものの、何かしら華やいだ、弾みがまったく感じられず、異様な雰囲気包まれていた。「万歳」の声がみな、涙声なのだった。〇〇は誰もがハンカチを目にあって、男たちも目を潤ませていた。机の上には、

勤務を終え、同僚六人と山手線で品川駅へ。そこから徒歩で寮のある高輪四丁目に向かつて南下中、電話ボックス内にころがっていたコカ・コーラを見つける。彼はコラを寮に持ち帰り、入浴後、ひと口含んだとたん、「腐ってる」と吐き出した。その直後、意識不明となり病院に運ばれたが、午前七時半頃死亡。
もう一人の被害者は菅原博氏（四六）で、グレーの作業着を着たまま路上で死亡していた。当初は行き倒れかと思われたが、解剖の結果青酸反応が検出され、中毒死と判明。榎垣君がコラを拾った場所から北へ六〇〇メートルの場所にある電話ボックスのそばにコラの王冠が落ちていて、それにも青酸反応が認められた。所轄の高輪署などが調べたところ、毒入りコラは北品川一丁目にある商店前赤電話の下でもう一本発見されたが、こちらは手つかずだった。

何のための無差別殺人か

警視庁捜査一課は高輪署に特捜本部を設置、捜査にあたったが、犯人検挙はならず平成五年一月時効、捜査は完全に打ち切られたのである。
犯人は一体、何のために、このような無差別殺人を試みたのか。どうして逮捕できなかったのか、高輪署で試みた。

「あの犯行は通り魔と同様で、動機がはっきりとしない。痴情怨恨が原因であれば人間関係をさぐれば、犯人にたどりつけるのですが、それと毒を用いる手口は、非力なものにも可能で、犯人像は女性から少年を含め対象範囲がかなり広がる。それらが捜査を難航させた要因でしょう」

「お正月休みでどこも戸を閉めて、暮を引いちゃってるでしょ。だから誰も外なんか見ていないのよ。事件後、飲みかけのコラ瓶が店先に置いてあったりしたけど、私は全部捨てていました」
犯人は今どこかで息をひそめ、誰かの生命をねらっているのだろうか



▲毒入りコラがあった電話ボックス 事件直後

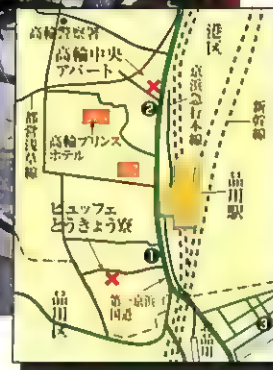
品川

「現場」を歩く 山本徹美

誰が「青酸入りコラ」を
電話ボックスに置いたのか



▲品川プリンスホテルの近く、榎垣君がコラを拾った電話ボックス(右の地図①)は今も残っている。右の地図で②③も毒入りコラ発見場所。②は電話ボックスのそば、③は赤電話の下。 取材 山本徹美



昭和五二年一月四日早朝、東京・港区で青酸ナトリウムを混入したコラによる毒殺事件が連続して発生した。
最初の犠牲者は榎垣明君（一六）。京都府立洛東高校一年生だった彼は冬休みを利用して、新幹線車内食堂でボーイとして働いていた。二日午後二時三十分



◀伊藤忠との業務提携発表から8
日後の昭和51年1月20日、組合員
3000人の安宅産業労組が誕生。

というイメージが強かった安宅産業の経営危機が表面化したのは、二年前、昭和五〇年暮れのことであった。二月七日付の「毎日新聞」は「米国安宅に救済措置、関係五行、今週、五〇億円送る、原油代金回収できず、六〇〇億円こげつき」と大々的に報じたのである。

安宅の子会社である米国安宅は、カナダのニューファンドランドで、政商と呼ばれたレバノン系アメリカ人のジョン・シャヒーンの手がけていた石油精製プロジェクト、ニューファンドランド・リファイニング・カンパニー（NRC）に深くコミットしていた。だが、採算性、

息の根を止めた
 厳しい「生体解剖」

「毎日新聞」のスクープ以前から、安宅社内では、再建策の検討を開始していた。だが、実態は調べが進むに

昭和五〇年の大晦日、住友銀行の伊部恭之助、協和銀行の色部義明、両頭取と伊藤忠の戸崎誠喜社長の会談が行われ、伊藤忠と安宅の合併を前提とした「業務提携」に基本合意する。伊藤忠に作られた安宅対策プロジェクトには、元大本営参謀の瀬島龍一副社長らが参加し、一片のセンチメンタリズムも入らない、冷徹な分析が加えられた。

その結果、伊藤忠に合流する安宅社員はほぼ、〇〇〇人、部門で言えば新日鐵の商権を抱えた鉄鋼と、化成品にいくつ

▲昭和51年3月19日、安宅労組は初の時限ストライキ(1時

間45分)を決行した。写真に東京・大手町の安宅産業東京本社の事務所前でピケを張る労組員。日本経済新聞社

「複雑な気持ちでした。明日から会社がなくなるといふ寂しき、悔しき、不安感、そして頑張るぞという決意が入りまじっていました。たしかに、万歳というのはすぐわなない気がしましたが、適当な言葉を思いつかなかったからです」というのは、当時化学品本部輸出課長だった田殿吉弘氏（現・五七歳）だ。そして続けて「私自身は、伊藤忠さんには行きませんでした。が、化学品本部はほとんどがまとまって伊藤忠に合流しました。ですから、肩たたきなどはあまりなく、その点では比較的恵まれた部門だったのかもしれない。」

か加わる程度、という厳しい内容だった。そして実際、不要であるとか、不採算部門と認定された部署は容赦なく、分離、縮小、あるいは解体されていた。希望退職が募られ、五年九月以降は、毎月二〇〇人近い安宅マンが、会社を後にした。どこの職場にもいくつもの大きな隙間が間断なくできていった。この過程は「まるで生体解剖だ」と評された。

「伊藤忠にすれば、お荷物はいらな
思ったのでしょう。商社もそれぞ
不得手がある。競合する部分や、自
得手の部分に対応する安宅のセクシ
は間引かれていきました。実際、去
地獄、残るも地獄でした」と安宅産
務だった高橋吉雄氏が言う。
「私も海外の得意先を訪れ、今度か
藤忠になります、と挨拶しましたが、
しかったですよ」（田殿氏）

折しもこの年、「窓際族」という流行語が誕生した。昭和四八年の第一次オイル・ショックは、「ただ同然の石油」を前提としていた日本経済を揺るがした。企業はこぞつて減量経営につとめ、余剰人員のリストラを進めた。安宅の崩壊はサラリーマンが気楽な稼業という時代の終焉を告げる狼煙でもあったのだ。



フォト+日録で再現する365日



▲使用済み核燃料、再処理へ(7月15日)茨城県東海村の日本原子力研究所から隣接する動燃(動力炉・核燃料開発事業団)へ移動し、11月、溶媒抽出法により初めてプルトニウムを回収した。

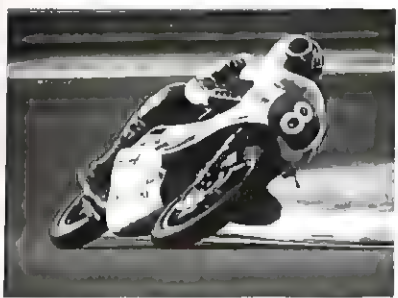


時事通信社



共同通信社

▲中ビ連解散(7月12日)東京のホテルで榎美沙子代表が記者発表(写真)。昭和49年結成以来、ピンクヘルで浮気男性に詰め寄るなど話題をさらったが、この年4月の参院選で立候補者10人全員が落選していた。



▲国際オートレースで日本人初優勝(7月31日)世界選手権第11戦のフィンランド・グランプリ350cc級に出場した片山敬済(26)が、平均時速157.5キロで1位。2戦を残して総合優勝の快挙を達成した。

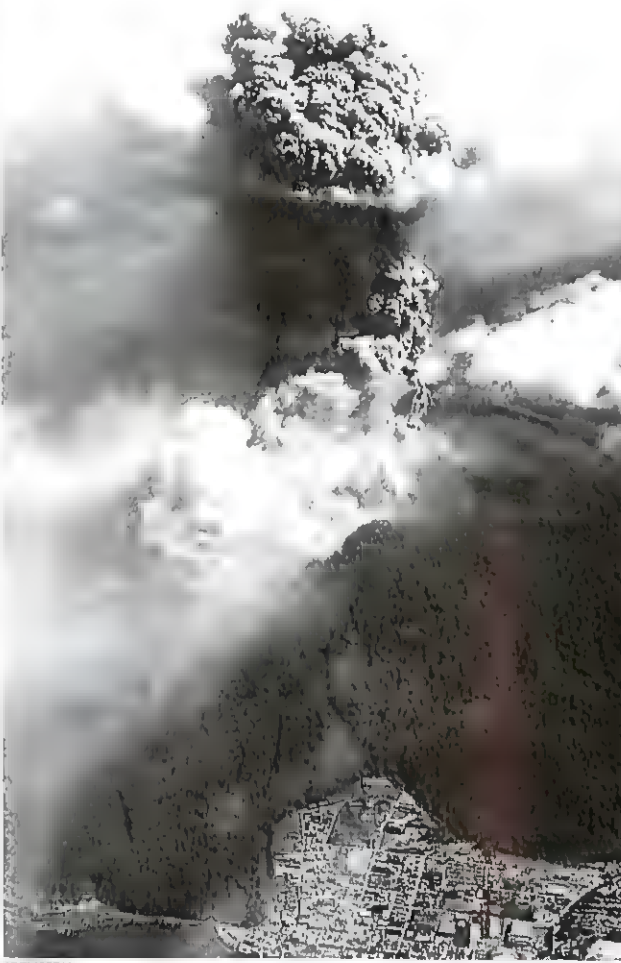


ロッキン 共同通信社

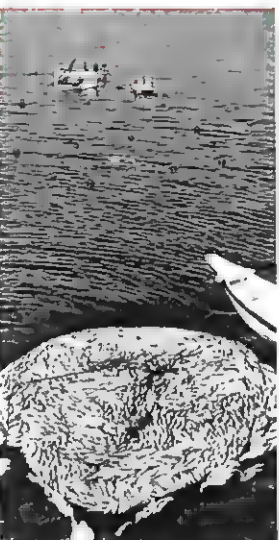
▲中国ミグ機、台湾に亡命(7月7日)操縦者は空軍第1偵察隊中隊長の范中佐(41)。対岸の福建省を脱出、台南空港に着陸した。「大陸の生活は苦しく、人権はまったくなかった」と語ったという。



▲五つ子、名づけ親に对面(8月25日)満1歳7ヵ月になった男児二人、女児3人が、101歳になる京都の清水寺賢主・大西良慶さんを訪れ、無事成育を報告。賢主は一人一人に頬ずりし、人形を贈った。



朝日新聞社



▲赤潮発生でハマチ大被害(8月28日)瀬戸内海東部、播磨灘の養殖場で180万匹が死に、被害は15億円に達した。写真は生け簀内に浮き上がったハマチ。昭和47年以降の被害に漁民も呆然。プランクトンの異常発生で注意報が出された矢先だった。



新華社 共同通信社

▲中国、5頭体制を確立(8月12日)北京の人民大会堂で中国共産党第11回全国代表大会を開催。写真左から順に、華国鋒主席、葉劍英、鄧小平、李先念、汪東興の4副主席を決定。江青ら「4人組」追放後の新体制を固め、「4つの近代化」を明示した。

▲有珠山大噴火(8月7日)北海道支笏洞爺国立公園内の標高727メートルの火山が大音響とともに噴煙を上げ、一帯に大量の火山灰を降らせた。噴火は14日まで続き、1022世帯が1ヵ月避難生活。温泉街、農地の被害は甚大だった。

証言・あの日この日 常盤新平(45)

5月31日(火)〈暑かったり、寒かったり、変な陽気がつづく。日中は夏の暑さで、とても上着なんか着てられないのに、夜は肌寒い。娘は毎晩のように厚い掛布団と薄いのをとをかえている。早くどちらかにきまらないものか。……



夜なんか半袖のブラウスだけという若い女性が寒そうにして、電車に乗っている。厚着をして暑そうに歩いている女性を日中、街で見かけることもある〉(常盤新平『雨あがりの街』)

この不思議な陽気のせいで常盤新平は、季節はずれの、ひどい風邪をひく。そして、この年の変な陽気は、さらに続き、連日30度を超える暑い7月をすぎ、8月に入り1週間もすると、一転、冷夏となる。25度に満たない日が続き、一番暑いはずの8月15日の、東京の最高気温は23度にしか達しなかった。(坪内祐三)

▼連続射殺魔「サムの息子」逮捕(8月11日)24歳の独身の郵便局員だった。前年夏以来、44口径ピストルでデート中の男女6人を殺し、7人に重軽傷を負わせて、ニューヨーク市民を恐怖におとし入れてきた。



ロイター 共同通信社

昭和52年7月

- 1(金) ●フィリピンからの漂流漁夫の竹筏が鹿児島県3日 ●サウジアラビアなど、原油価格が上げ決定 OPECの石油価格一本化
- 4(月) ●千葉県教委、公立校教員の職業禁止を通告
- 5(火) ●パキスタンでクーデター、フット政権崩壊
- 6(水) ●スイスのユニオン銀行が一人当たりGNP各 国単位発表。一位クウェート、日本は一八位
- 7(木) ●広島高裁、山口県での強盗殺人事件再審で、 加藤新一に六二年ぶりの無罪の判決。
- 8(金) ●沖縄県嘉手納基地の地主一人、国に所有 権回復と軍用地料支払いを求め提訴。
- 9(土) ●代々木ゼミ、私立医大の裏口寄付か、 〇〇万円以上は二校と公表。
- 10(日) ●大阪の家賃見本市で一六、人が集団食中毒
- 11(月) ●福岡地裁、NHKへの氏名現地語読み訴訟で 在日韓国人牧師の訴えを棄却。
- 12(火) ●東京地裁、元首相の秘書官の訴えを棄却。
- 13(水) ●三田誠広「僕って何」池田満寿夫、エーゲ 海に捧ぐ」が第七回芥川賞受賞。
- 14(木) ●三井物産、イタリアナナ、東 京臨海で開幕。スーパーカー 四台を展示
- 15(金) ●三井物産、イタリアナナ、東 京臨海で開幕。スーパーカー 四台を展示
- 16(土) ●東京地裁、元首相の秘書官の訴えを棄却。
- 17(日) ●東京地裁、元首相の秘書官の訴えを棄却。
- 18(月) ●主婦二人、化粧品で顔が黒く変色とメーカ 一五社に賠償一億円余を求め大阪地裁に提訴
- 19(火) ●資金難で新幹線計画を一旦に縮小と国土庁。
- 20(水) ●川端康成の遺族、日弁士見の小説 事故のて んまつ、は名誉毀損と慰謝料要求提訴。
- 21(木) ●本田技研、米国内で大型 輸生産の方針発表
- 22(金) ●新学習指導要領で、君が代」を国歌と明記
- 23(土) ●関東大震災以来中断の戸沢西水の温泉復活
- 24(日) ●法務省、北朝鮮原水禁大会代表団の入国許可
- 25(月) ●米韓安保協議会、韓国からの米軍撤退を台意
- 26(火) ●米韓安保協議会、韓国からの米軍撤退を台意
- 27(水) ●米韓安保協議会、韓国からの米軍撤退を台意
- 28(木) ●菅官の三割は、アミスを修験と発給発表
- 29(金) ●福島地裁、木村前知事に収賄罪で実刑判決
- 30(土) ●松本佐科大経営陣、乱脈経営で全員辞任決定
- 31(日) ●大平雄一夫妻ら、コト、さちがせ」による 八二日間世界一周終え北九州市に帰港。

昭和52年8月

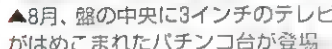
- 1(月) ●動機不明の無差別凶悪犯罪が増加と警察庁。
- 2(火) ●プロ野球の人海、夏の模様を伝える
- 3(水) ●原水協と原水禁が、四年ぶりに共闘して、原 水禁統一世界大会を広島で開催
- 4(木) ●札幌市議会、五輪再誘致問題で市民の賛否を 問う異例の世論調査実施と決議
- 5(金) ●母子世帯所得は平均の半分以下と厚生省調査
- 6(土) ●松本零士原作「宇宙戦艦ヤマト」封切
- 7(日) ●北海道の有珠山が三年ぶりに噴火。
- 8(月) ●日本山岳協会登山隊、世界第二峰のK2に、 三年ぶり史上二度目、日本人では初めて登頂。
- 9(火) ●インド政府、コカ・コーラの成分公開を要求。 中核派 が日航常務宅に放火、全焼
- 10(水) ●七日の成田空港騒音アストに抗議し、中核派 が日航常務宅に放火、全焼
- 11(木) ●日立造船、国内最大の五〇万トンカー完成
- 12(金) ●日本アマチュア将棋連盟発足。
- 13(土) ●小・中学生教育費は五年で倍増と文部省調査
- 14(日) ●アムステルダム日本支部、世界の政治犯解放 訴え東京 大阪両市に発信
- 15(月) ●二書房刊の「愛のコリダ」を猥褻として 大島清らを起訴(57年、二審で無罪確定)。
- 16(火) ●エド・スノー、北極点に到達
- 17(水) ●ソ連の原子力砕氷船が北極点に到達
- 18(木) ●中核派が、五輪再誘致問題で市民の賛否を 問う異例の世論調査実施と決議
- 19(金) ●日興証券高知支店に人質六人と脅威した男を、 警察が強行突入して五八時間ぶりに逮捕
- 20(土) ●エド・スノー、北極点に到達
- 21(日) ●高卒者に、大学より就職」が増加と労働省
- 22(月) ●天皇、記者会見、人間宣言は「五箇条の 御誓文」伝達が目的だ、と発表
- 23(火) ●京都府、防衛設備のない深夜スナックは午後 営業許可しないと決定
- 24(水) ●参院議員の横山ノック、公職選挙法に抵触する ため国連大学への寄付金を却却される
- 25(木) ●参院議員の横山ノック、公職選挙法に抵触する ため国連大学への寄付金を却却される
- 26(金) ●参院議員の横山ノック、公職選挙法に抵触する ため国連大学への寄付金を却却される
- 27(土) ●参院議員の横山ノック、公職選挙法に抵触する ため国連大学への寄付金を却却される
- 28(日) ●参院議員の横山ノック、公職選挙法に抵触する ため国連大学への寄付金を却却される
- 29(月) ●参院議員の横山ノック、公職選挙法に抵触する ため国連大学への寄付金を却却される
- 30(火) ●参院議員の横山ノック、公職選挙法に抵触する ため国連大学への寄付金を却却される
- 31(水) ●参院議員の横山ノック、公職選挙法に抵触する ため国連大学への寄付金を却却される

8

口からでまかせが受けた

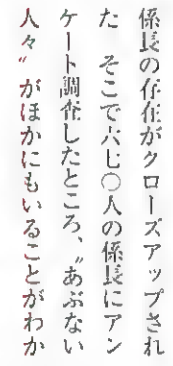
二年前の昭和五〇年夏、都水産試験場の二人の職員が世界で初めて捕らえた魚に、このたび「真珠アナゴ」という日本語学名がつけられた。体型がアナゴに似ていて、体の白点が真珠のように見えるというのが命名の理由。二人の職員はこれを八丈島で発見したが、そこでは数十年前から数方々の群れが尻尾を海底の砂の中に突っこみ、かま首をもたげて、コンブのようにゆ

三面記事



男は目の丸のこ加護を頼むからには、自分にもそれなりの努力が必要だと考え、一日一万円以上盗むこと、盗む時は○でも○でも歩くことの二つを自分に義務づけ、そのとおりに実行していた

都庁で汚職事件が相次ぎ、五人が逮捕された。しかもそのうち三人が係長だったところから、仕事ばかり多くて、昇進の道が少ない



らゆら揺れながら餌を待っていたという

〔毎日新聞〕五月二十二日

【大阪発】家庭の大敵ギブりを一匹・〇円で買上げます」と
東大阪市のスーパー「イズミヤ」若江若田店が、七月二日からギブり撲滅大作戦を行った。同店のテナントに〇店が「開店八年で、どの店も順調、そのお返しを」と考えたアイディアで、生死や大小を問わず買上げるといふもの、これには市も協力、殺虫剤・〇〇



今、大学ではピンク研究会が大流行している。先鞭をつけたのは慶大で、昭和五年暮れに、慶大

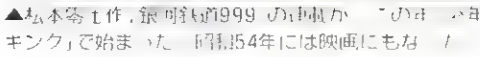
- コンピュータつき飲酒検知器
- 警視庁が、一月に導入。
- サラ金被害者の会　　○月大阪で結成。
- M-1 (Most Impressive Player) バリリーグが設定　第1号は阪急の足立光宏投手が受賞
- 禁煙タイム　大阪の地下鉄御堂筋線梅田、難波両駅が朝夕のラッシュ時禁煙に



◀四月一六日、平凡出版(現・マガジンハウス)が「クロワッサン」を創刊。月刊で四八〇円。

新資料に研究の材料知し、日本人のお化け観を調査した対象はネツシー、宇宙人、幽霊、河童、怨霊など二二種類、怨霊への関心二二、代女八、代男五五、五五歳以上女五、五五歳以上男三、超能力への関心二二、代女六七、代男七五、五五歳以上女四五、五五歳以上男四、鬼、河童など古典のお化けに対する関心は性別、年代を問わず、台総じて若くて学歴が高いほどお化けに対し、心を揺さぶられることがわかったという

(朝日新聞一九九二年二月一日)



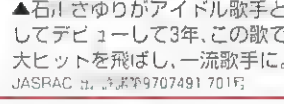
▲第19回日本レコード大賞、第8回日本歌謡大賞受賞作。沢田研二が独特のスタイルを確立。

勝手にしやがれ
 壁ぎわに寝がえりうつて
 背中できいてる
 やっぱお前は出て行くんだな
 悪いことはかりじやないと
 想い出かき集め
 靴につめこむ気配がしてる
 行ったきりならしあわせになるがいい
 戻る気になりやいつでもおいでよ
 せめて少しはカッコつけさせてくれ
 寝たふりしてる間に出て行ってくれ

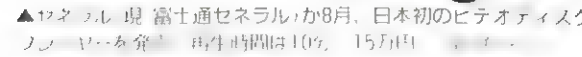
作詞 阿久
 作曲 大野五郎

作詞 大野元正
作曲 久保 聡

バーボンのボトルを抱いて
夜ふけの窓に立つ
お龍がふらふら行くのが見える
さよならというのもしなせ
しにけた感じだし
あはまてサラリと送ってみるか
別にぶぎて困らせたわけじゃない
愛というのに照れてただけだよ
*夜というのに派手なレコードかけて
朝までぶぎけようワンマンショーで
アア アアア…… (* 繰り返す)



泣いていました
ああ 津軽海峡冬景色
ごらんあれが竜飛岬 北のはすれと
見知らぬ人が指をさす
息でくもる窓のガラス ふいてみたけど
はるかにかすみ見えるだけ
*さよならあなた 私は帰ります
風の音が胸をゆする
泣けとばかりに
ああ 津軽海峡冬景色
(* 繰り返し)



犠牲者二〇万人を出したウガンダの恐怖！ 独裁者・アミン大統領の素顔



「聖職者までが殺される」——一九七七年二月の英国国教会大主教の不審な事故死は、アミン・ウガンダ大統領のおそろしさを世界の人々に印象つけた。しかし、アフリカでは、アミンを支持する声も少なくなかった。列強の分割政策で部族対立の絶えないアフリカでは、第二、第三のアミンが出る可能性は今もあるのだ。

交通事故か、謀殺か？ 英国国教会大主教の死

「大統領転覆計画に因与して逮捕されたウガンダ英国国教会大主教・ルウム氏と関係二人は、逃亡をはかり交通事故のため死亡した」

一九七七年二月一七日、ウガンダ放送が発表したこのニュース、それも聖職者の死は、世界中に衝撃を与えた。

ウガンダの大統領は、七一年の政権獲得直後から反対派に対する弾圧を行っていたイディ・アミン（四九）。大統領転覆計画への報復として反政府と目された部族数千人の虐殺が伝えられる最中の事件に、誰もが不信の色を隠さなかった。

英労働党のジェナ・議員は「汚れた血の殺害をおおい隠そうとするものである」と、いち早く「謀殺」を主張。英国政府は国連人権委員会を通じた調査を厳しく要求した。ヤング米国国連大使は「ルウム氏は暗殺された」と断言し、当時、ウガンダと大猿の仲にあったタンザニアの国営新聞は「アミンみずから射殺した」とまで言いきっている。

しかし、当のアミンも黙っていないかった。カーター米大統領が「ウガンダの行為は文明国に嫌悪をもよおさせる」と非

ら財政援助を受けると、突如として「ウガンダをイスラム教国にする」と宣言。国民の八五割を占めるキリスト教徒の迫害を始めたことも虐殺の犠牲者をふやすことになった。七七年五月の国際法律家委員会（ICJ）の発表によれば、「権力を握ってからの二年間で少なくとも八万ないし九万人が虐殺され、現在までの

救のためにキヤラハン英外相をウガンダに呼びつけて謝罪させた。こうしたアミンの言動に欧米諸国は眉をしかめたが、ウガンダ国民はもとよりアフリカ諸国は拍手したのだった。しかし一方では旧支配層に対する弾圧

は苛酷をきわめ、すでに七一年にはナイル川にワニが食べきれないほどの死体が浮かび、「水力発電所吸水口をふさいでしまうことがしばしばあった（ヴィーデマン著『アミン大統領』）と言われるほど。さらに七二年にリビアのカダフィカ

▶1975年10月1日、国連総会で挨拶するアミン大統領。身長190センチ、体重120キロの堂々たる体軀。 CORBIS-BETTMANN PPS

大統領の親族も消された アミン八年間の独裁政治

ウガンダ国軍の参謀総長だったアミンが、オボテ大統領の外遊中にクーデターで政権を掌握したのは、一九七一年一月二五日のこと。

「オボテ前大統領は自分の出身部族の間を極端に優遇し支配層を固めていました。そのくびきを取り払ったアミンに、国内は歓迎ムードでいっぱいでした」

日本とウガンダの合併衣料製造会社の工場長として、一九六四年から一九年間ウガンダに暮らした相田雄一氏（現・六五歳）は、当時を振り返って言う。

さらにアミンは翌年八月に、「経済のウガンダ化」を宣言し外国企業を接収。コーヒー・紅茶・砂糖などウガンダの産物を握っていた約八万人のインド人（ほとんどが英国籍）に国外退去を命じた。インド人がウガンダ国籍を取得しようとせず、「牛（ウガンダ）から乳をしぼるだけで、餌を与えなかった」からである。また七五年には「アミンは村の暴君」と評した英国人教師に死刑を宣告。その特



▲1975年6月、ウガンダの首都カンパラで白人にかつがせた輿に乗り、ご機嫌のアミン大統領。 キーストン

日本への旅で完結した映画監督 ペキンパーの心の円

佐伯修



▶黒澤明の「羅生門」に強くひかれた。

銃弾を受けた人物から噴き出した血しぶきのスローモーション撮影など、リアルなバイオレンス描写でセンセーションを呼んだ、アメリカの映画監督サム・ペキンパー（一九二五〜八四）は、この年の二月、初来日した。新作「戦争のはらわた」のキャンペーンのため、主演男優のジェームス・キンバーは日本をいっぺんで気に入った。「二十年前にやってくるべきだった。ずうっといたんだが、何か居座るいい方法はないかね」（毎日新聞）二月一六日夕刊）これは、たんなる新聞記者へのリップサービスではなく、大げさに言えば、日本は、彼にとつてある種の「宿縁の地」だったらしい。石上三登志によるインタビューの中で、彼はこんなことを言っている。「不思議な事に、日本にきてはじめて僕の「円」が完結するようない感じがする……三〇年前にはじまったアメリカ、メキシコ、中国という円が……」（キネマ旬報）一九

七七年三月下旬号）

ペキンパーは、カリフォルニア州のサン・ヨアキン・ヴァレーの農村に生まれ、そこでは「日本人も中国人もユダヤ人も、みんな一緒に育ち、すべてを分けあつてきた」。少年時代のガキ大将は「アイボウ」と呼ばれた日本人だった。だが、まもなく「悲しい時代」が始まる。戦争である。ペキンパーは、海兵隊員として、メキシコ、次いで中国へ送られた。彼は、石上に、終戦直後の中国で、敗戦国民の日本人を暴徒から守った時のエピソードを語っている。

「五歳の日本の女の子を熱烈に愛した事もあるよ。一九四五五年のクリスマスだったけど、僕はその子の家のガードだったんだ。（中略）雪が降つてた。すると、その子から出てきて、僕に「ありがとう」って言ったんだ。とってもきれいな子だった。僕はもう、すごく感動してしまつてね、思わず彼女に捧げ銃をした」（同）

彼自身強く否定したように、ペキンパーが暴力を執拗に描いたのは、暴力が好きだからではなく、むしろ、彼の幼少時代にあつたような、愛情と相互理解に満ちた世界をたたき潰した、暴力への激しい憎しみがあつたからではなからうか。暴力シーンの多い彼の映画には、なぜかかならずといっていいほど、大人たちの愚行を、じつと見ている子どもたちの姿がある。

ペキンパーは、彼の「円」の構成要素で、「ワイルド・パンチ」や「ガルシアの首」の舞台、メキシコで世を去つた。



▶一九七三年二月、ビクトリア湖畔の町、ジンジャのサッカー場での反アミン派に対する公開処刑。

犠牲者は一〇万人を超え、たのだった。こうした恐怖政治に内外からの批判が高まると、追い詰められたアミンは次第に虐殺をエスカレートさせていった。「七七年頃から暗殺事件が頻発するようになり、街中に恐怖感が漂つていました。工場のウガンダ人マネージャーが軍に連れ去られたこともあります。この時は、政府に手をまわして救出しましたが、三三時間の間に、もう頭の毛は剃られ顔がはれあがつていました」（柏田氏）反アミンのレッテルを貼られたら大統領の親族でも容赦されなかつた。最高の権力機関「防衛評議会」を固めていたアミンの親族七人のうち六人が、七七年末から次々と姿を消したのである。

一九七九年四月、タンザニア軍と反政府ゲリラ・ウガンダ民族解放戦線の前に首都・カンバラが陥落し、アミンはリビ

アへ逃亡。最終的には犠牲者三〇万人と言われたアミンの恐怖政治は幕を閉じた。一九七三年にアミンと単独会見した時「朝日新聞」記者の久保田誠一氏は、「第二、第三のアミンが出てくる可能性は、今もアフリカにある」と語る。

「ルワンダ内戦がいい例ですが、今もアフリカには部族対立が絶えません。アミンも少数派部族出身だったために政権獲得直後から何度も暗殺されかかりました。だから秘密警察や軍隊を使って、多数派部族をおさえつけざるをえなかつた。植民地時代に勝手な線引きをされ、五〇〇〇の部族が五三カ国に別れて暮らすアフリカでは、いつアミンのような人物が出てきてもおかしくないのです」

イディ・アミン（Idi Amin）
ウガンダの軍人、政治家。プロ・ボクサーから軍隊に入る。一九七一年クーデターに成功し大統領に。七九年ウガンダ民族解放戦線に敗北して逃

往きて 還らぬ



▲2月16日 末川博(84)
元立命館大総長。法学者で民法学の権威。民主主義の確立に尽力し、教育改革で功績を残す。著書に「民法大意」。



▲3月3日 竹内好(66)
中国文学者、評論家。昭和19年「魯迅」を発表。28年都立大教授となるが、35年の安保条約強行採決に反対して辞任。



▲3月21日 田中絹代(67)
女優。昭和13年「愛染かつら」で一躍人気スターに。28年「恋文」で初の女性監督となった。ほかに「西鶴一代女」など。



▲4月6日 木戸孝一(87)
政治家。木戸孝允の孫。昭和15年内大臣となり天皇側近をつとめる。戦後A級戦犯で入獄し、天皇には退位を勧めた。

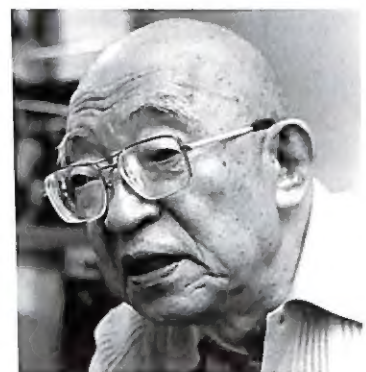


▲5月22日 江田三郎(69)
政治家。戦前、農民運動に参加。昭和35年社会党書記長、52年離党後、社会市民連合を結成。江田五月は長男。

▼8月16日 エルビス・プレスリー(42)
「ハートブレイク・ホテル」などで知られる、ロック界のスーパースター。死後、米大統領が追悼声明を発表した。



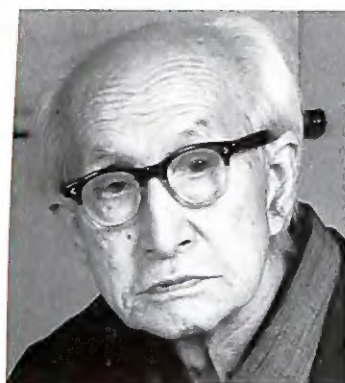
▶9月16日 マリア・カラス(53)
オペラ史上に輝く名ソプラノ歌手で、「トスカ」などのイタリヤ・オペラで活躍した。一九六五年引退。



▲9月19日 今東光(79)
小説家。僧侶。大阪河内地方の風土ものを得意とし、毒舌でも知られた。昭和43年には政界入り。代表作「お吟さま」。



▲10月14日 ビング・クロスビー(73)
アメリカの歌手、映画俳優で、1954年「ホワイト・クリスマス」が大ヒット。映画「珍道中」シリーズでも人気。



▲10月27日 前田青邨(92)
画家。元東京芸大教授。歴史画に優れ法隆寺金堂壁画や、高松塚古墳壁画の再現に寄与。昭和30年文化勲章受章。



▲10月29日 千代の山雅信(51)
力士。昭和20年新入幕、192センチ、120キロの巨体で突っ張りを得意とし、26年横綱。引退後、九重部屋をおこす。



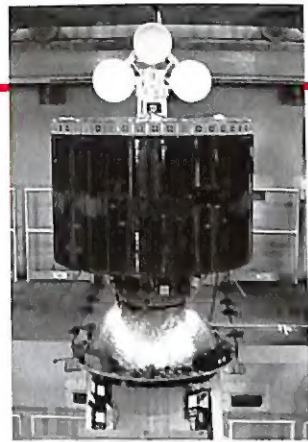
▲12月1日 海音寺潮五郎(76)
小説家。昭和4年「うたかた草紙」で認められ、歴史小説で人気を博した。代表作に「天正女合戦」「武将列伝」など。



▶12月25日 チャールズ・チャップリン(88)
喜劇映画を自作自演し、喜劇王と呼ばれた。代表作に「モダン・タイムス」「チャップリンの独裁者」など。

三二事典

1977年の キーワード



宇宙開発事業団提供

地球の自転と同じ角速度で地球を周回するため、地上からは静止しているように見える人工衛星。通信・放送・気象などのデータを送受するシステムの核として利用価値が高い。日本では二月三日に宇宙開発事業団が打ち上げた技術試験衛星「さく2号」が第一号、七月に気象衛星「ひまわり」、十二月に通信衛星「さくら」が米国に委託して打ち上げられ、にわかに静止衛星時代を迎えた。



▲全日空が導入したエアバス、ロッキードL1011トライスター。

缶詰やインスタント食品に飽きた女性たちの人気を得た」と分析。

かび防止剤OPP

アメリカで輸出用のグレープフルーツやレモンなどの表皮に塗るかび防止剤。オルトフェニルフェノールの略。遺伝・慢性毒性があるため禁止されたが、厚生省は四月三〇日、柑橘類に限り一ppm以下の使用を認めると省令改正。米側の農産物自由化要求にともなう政治的圧力に屈したかっこうになった。

エアバス

貨を実現しようとした大都市間を結ぶ航空機。今日では国内線・短距離国際線に使われている二・五・五国乗り、客室内に二本の通路を持つ大型ジェット旅客機。ダグラスDC10、ロッキード1011、エアバスA300など。この年、五月から大阪空港にも就航、空の大量輸送時代が始まった。

料理素材誌
調味素材を、そのまま使えるように
適量な大きさに切り、味付けせずに
煮て缶詰にしたもの。アサリ、タケ
ノコ、タイズ、マッシュルームなど
が一般的。紀文食品と西友ストアは
四月一日、ゴボウ、ニンジンなどを
加えて売り出し好評を博した。六月
二日付「朝日新聞」は「手早く好
みの味付けができ、従来の調理済み

現物は冷凍倉庫にあるが、持ち主だけが代わること。「魚隠し」ともいかに二〇〇カイル時代到来による漁獲量大幅低下を見越して、水産会社や商社が行った価格操作。魚価暴騰の原因とマスコミにたたかれた。東京都是臨時魚価対策本部を設けて、五月三日に冷凍倉庫一四〇カ所の一斉立ち入り検査を行ったが、実態を

津地鎮祭訴訟
三重県津市が市立体育館起工に際して公費で地鎮祭を行ったのは信教の自由、政教分離を定めた憲法に違反するとして起こされた訴訟。戦後、地方自治体の宗教的行事を問う初の裁判だった。第一審の津地裁は合憲としたが、七月三日、最高裁は「朴

鉄の車輪を日本商社から買い入れた際、朴政權と日本の政界に多額のリベートが渡つたとされる事件。三菱商事・丸紅・三井物産・日商岩井が輸出価格を水増しし、そのうち一〇〇万・二〇〇万ドルが日本に還流、政界に渡つたとされた。衆院予算委員会で関係者が一部事実を認めたが疑惑は解明されなかった。

二〇〇カイル漁業水域
漁業権を行使できる範囲を、〇〇カイル（約三・七〇キロ）とする経済的開洋秩序。一九七三年（昭和四八）開催の第三次海洋法会議以降、世界的論議となったが、領海とのからみから先進国と開発途上国が対立。七六年にアメリカがその権利を漁業権に限るとする法律を設定、以降各国もそれにならひ、この年、日本の七月一日施行を含め、五〇カ国以上が二〇〇カイル体制に入った。

日本赤軍のハイジャック、人質を盾に
 しての要求に、法律を無視して従
 った日本政府の措置。九月二十八日、
 乗員一五六人の日航機を乗っ取った
 日本赤軍は人質と交換に赤軍派七人、
 一般刑事犯二人を釈放せよなどと要
 求。福田赳夫首相は「人の命は地球
 より重い」とこれを呑んだ。この頃
 国際世論は強硬策を支持する傾向に
 あり、日本は激しい批判をあびた。

腎臓提供連絡先電話（24時間特設）
0434-85-7011
 ●腎臓を提供していただく事柄、発生したときは上記に連絡してください

腎臓提供者カード

このカードは下記に登録されております。上記の腎臓提供の連絡以外の質問や問合せ等はすべて下記にお願いします
 問合せ先 **社団法人腎臓移植推進委員会** (03)502-7017～3
 〒105 東京都港区虎ノ門1-15-16 船舶振興ビル5階

▲「腎臓提供者カード」。腎臓の提供を申出、腎臓バンクに登録した人が携帯した。在は自由配付制になっている。

田子町の浦住民訴訟
静岡県富士市市民が、製紙工場が田子の浦に排出したヘドロの汚濁を県庁が不行い、その費用を製紙会社に請求しなかつたのは違法であるとして起こした訴訟。昭和四九年の一審は敗訴したが、九月五日、東京高裁は「原因者負担の原則」から大昭和・大興・興亜工業・本州の四製紙会社に一〇〇〇万円の支払いを命ずる判決を下した。

会の。一般的慣習に従った儀礼」として合意との判決を下した。

昭和の森

林野庁が天皇在位五〇周年記念の事業予定地として選んだ国有林・県有林。九月二日、国有林から静岡県の大城国有林と北海道の野幌国立自然体養林、県有林から茨城・愛知・和歌山の三カ所、合わせて五カ所が選ばれた。国は二カ年計画でこれらの森を整備。平成二年には全国で八カ所になった。

●特集

過激にデビュー、衝撃的に引退！
「ピンク・レディー」とキャンディーズ
七五六号は右翼席に突き刺さった
王貞治、「二本足打法」で世界新！
「解体」され、伊藤忠に吸収合併された
名門・安室モモンサ六〇〇人の運命
犠牲者三〇万人を出したウガンダの恐怖
独裁者・アミン大統領の素顔

●ユース・フアイル

フォート+日録で再現する365日

10・30 38 27 6 2

森英恵、パリに進出	稲葉真弓	9
勝者・敗者 「ジャンプ」の佐野稔、メダル獲得 証言・あの日のこの日	坪内祐三	9
20世紀博物館 新冠町レ・コード館(北海道)	桑原茂夫	15・31
「現場を歩く」 外から見たNIPPON 映画監督ヘンパールの日本への旅	山本徹美 佐伯修	17 40
●モノ語り 「ふんと乾菜鍋」	「磁気付健康サンダル」	26
		19

●人物クロースアップ	山下泰裕、史上最年少優勝	20
●決定的瞬間		
●「ニュー・ネッシー」騒動		22
●「美の出会い」		
日劇ダンシング・チーム最終公演		24
ベストセラー		
18 スターと名場面		18
36 はやり歌		37
41 ミニ事典		42
往きて還らぬ		
俄来多市		

● 官吏協力

本文化院に在りて、デザイオ・オフィスに在り。楓葉館に在るエービー・イレース、バカリマルヒ、小原ハチ、カメスリ、シド・ワコ、有マックス、有マライカ、ヨハン・ク、鍵和田良輔、小松邦宏、佐野長政、張竹政展、藤森賢司、結城伸一、占田忠正。

岩井孝一 岡崎峯 奥村健太郎 鈴木嘉恒 瀧富良由夫 松本次史
松本谷上 矢野道雄
朝日新聞社 キーストン 時事通信社 NEWSPRINT BERTHEIM
本経済新聞社 PPS 報新新聞社 中華社 日刊スポーツ WTM
ビス 毎日新聞 コマサシ 読新新聞 日テレ WWS
松竹 東京日本コロムビア 富士通セレクトール ロイヤル
市川南興 全日本連合流通協会 えとせ移転センター博物館 近
映画館 全日本映画文化連盟 社会主義青年会 ネットワーク

日録20世紀専用バインダー
 高級感あふれる特製バインダーを用意しました。「日録20世紀」全100巻を10冊ずつ年代順にバインダーにしてそろえれば、「20世紀」ビジュアル百科のできあがり。10年ごとに分類するためのシールも添付。取りはずしは簡単で、整理にも便利、じょうぶな仕上がりです。あなたの書斎を飾るホーム・ライブラリーとして、永く保存してお楽しみください。バインダーは1部1300円(税別)。全国の書店でお求めください。

で主役　勝者敗者…宗茂、弟の猛とマリンソン「黄金時代を開く」証言・あの日のソノ：江藤淳、吉行淳之介　20世紀博物館「現代ガラスの博物館（東京都港区）」「現場」を歩く：原宿、「竹の子族」の舞台／外から見たNIPPON・M・F―「が」が神院で見た「証」としての日本―

★ベストセラー…『頭のいい税金の本』★

★ベストセリヤ面…『竜巻』『ガード』『モノ』



■ 期刊好評登載中



<p>▶第44号1932【昭和7年】12月22日発売</p> <p>【萬國圖】建國●五・一五事件と大森ギンギン事件と</p> <p>とスパイM●ターザン】とワイズミューア人気</p> <p>▶第45号1933【昭和8年】1月10日16日発売</p> <p>皇太子明仁親王誕生●三陸大津波の被害●特高・小森多木を逮捕●日本、ついに国際連盟脱退へ</p> <p>▶第46号1934【昭和9年】1月13日発売</p> <p>宮内省の暴威●驚愕の真作浮世絵●尊厳戦争事件●大日本東京野球倶楽部設立●中国紅軍、長征開始</p>	<p>▶第47号1935【昭和10年】1月20日発売</p> <p>大森に大津波●第四艦隊事件●作られた美談「忠犬ハチ公」●スイング金座とベニー・グッドマン</p> <p>▶第48号1936【昭和11年】1月27日発売</p> <p>日本を震撼させた二・二六事件●ベルリン五輪の「明暗」●西安事件●エドワード8世「王冠を捨てた王」</p> <p>▶第49号1937【昭和12年】2月26日発売</p> <p>盧溝橋事件勃発●日中全面戦争へ●尊厳「大和」起工●南京虐殺事件●女性飛行家伊豆ハヤト達の遭難</p>	<p>▶第50号1938【昭和13年】2月10日発売</p> <p>幻の東京五輪●代用品時代始まる●笑いの慰問団「わらわら」●岡田嘉子・杉本良吉、ソ連へ越境</p> <p>▶第51号1939【昭和14年】2月17日発売</p> <p>双葉山、69連勝でストップ●ノモンハン事件の悲愴●「常規」初の試験飛行●第2次世界大戦勃発</p> <p>▶第52号1940【昭和15年】2月24日発売</p> <p>「紀元は二千年六百年！」●独伊三国同盟締結●強まる統制、配給●「回覧板」●海の狼」リポート</p>	<p>▶第53号1941【昭和16年】3月3日発売</p> <p>チャールズ、ダイアナ結婚●中国残留孤児の苦難●窓ぎわのトットちゃん 刊行●第2次艦隊開ススタート</p> <p>▶第54号1942【昭和17年】3月10日発売</p> <p>ホテル・ニュージャパン火災●新日曜で高戸休止続く●日米コンピュータ戦争●フョークランド粉争</p> <p>▶第55号1943【昭和18年】3月17日発売</p> <p>東京ディズニーランド、オープン●「おしん」大ブーム●激化する校内暴力●大朝航空機撃墜事件の謎</p>
--	--	--	--

PILOT



145品、書けました。

世界初、激細で蛍光カラー

●新開発バイオポリマーインキでにじまずクリアな発色。●3点支持方式で、極小超硬ボールを装着。



- ハイテックC LH-20C3(0.3ミリボール/筆跡幅0.15mm)
- ハイテックC LH-20C4(0.4ミリボール/筆跡幅0.2mm)
- インキ色:黒・赤・青・グリーン・ブラウン・ライトブルー・オレンジ・ピンク・バイオレット・イエロー・ブルーブラック・蛍光グリーン・蛍光ブラウン・蛍光ブルー・蛍光オレンジ・蛍光ピンク・蛍光レッド・蛍光バイオレット・蛍光イエロー
- ハイテック05 LH-20C5(0.5ミリボール/筆跡幅0.25mm)
- インキ色:黒・赤・青・グリーン・ブルーブラック ■各1本200円(税抜)

ピシッ書ける、ハッキリ読める。ハイテックC

HI-TEC-C



製造元:パイロットインキ株

